

MERIT

16ch/8ch デジタルビデオレコーダ MDR-6160A(S) MDR-6080A(S)

(AタイプはDVD+RW内蔵)

取扱説明書

(Ver 0.9.54)



写真はMDR-6160です。

目次

1. 正しくお使いいただくために	P2
2. 主な特長	P3
3. 各部の名称	P4
4. メニュー画面一覧	P8
5. 接続例	P10
6. 機器設定とマウス操作	P13
6-1. マウス操作とマウスメニュー	P13
6-2. カメラ設定	P15
6-3. モニタ画面の設定	P16
6-4. 録画設定	P18
6-5. アラーム設定	P20
6-6. ネットワーク	P21
6-7. システム	P23
6-8. PTZカメラコントロール	P26
6-9. バックアップ情報	P27
7. 録画	P29
7-1. 通常録画	P28
7-2. スケジュール録画	P29
7-3. アラーム録画	P29
7-4. モーション検知録画	P29
8. 再生	P30
8-1. 時間検索	P30
8-2. イベント検索	P30
8-3. 録画検索	P30
8-4. 日付検索	P30
9. ライブ映像監視の操作	P31
9-1. 機器本体操作	P31
9-2. マウス操作	P32
9-3. リモートコントロールユニット操作	P32
9-4. フル画面自動切換え	P33
9-5. プリセット位置呼び出し	P33
10. 遠隔監視	P33
10-1. インターネットを使う前に	P33
10-2. 遠隔監視画面の立ち上げ	P34
10-3. インターネットからの各種設定	P37
10-4. 遠隔監視の操作	P45
11. データのバックアップと再生/印刷	P45
12. キーボード(MKB-931D)による操作	P47
13. 録画時間について	P50
14. 機器仕様	P51
15. Q&A	P52
16. その他	P52

1. 正しくお使いいただくために

以下の警告・注意事項をお読みになり、安全にご使用ください



警告 人が死亡、または重症を負う恐れがある内容です。

- 電源は正しく使用する

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 湿気の多い場所では使用しない。

風呂場・炊事場など、湿気の多いところ、湯気、油煙、ほこりがあたるような場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りはじめたときの対処

雷が鳴りはじめたら、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- キャビネットは絶対にはずさないでください。

火災・感電の原因となります。内部点検、調整、修理は販売店にご依頼ください

- 機器に異常が生じたときの対処

万一煙がでてい、変なおいや音がする、本体を触ることができないほど発熱している場合などの異常状態になったときは、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

- 改造は絶対にしないでください。

本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 機器に水が入る可能性のある環境では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。降雨中、海岸、川

岸水辺での使用は危険ですのでおやめください。



警告 人が障害を負ったり、財産が損害を受ける恐れのある内容です。

- 直射日光や熱器具の近くは避けてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くには置かないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

- お手入れのとき

お手入れのときは、安全のため、作業の前に必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

- 磁気を発生させる機器の近くには置かない。

磁気を発生させる機器の近くには置かないでください。磁気の影響をうけて、正しく動作しないことがあります。

2. 主な特長

- 同時録画・再生が可能な16映像入力のデジタル・ビデオ・レコーダです。(MDR-6160)
(MDR-6080は8映像入力です。)
- 画像圧縮方式にすぐれたMPEG-4を採用、長時間録画を可能としています。
- インターネットまたはLANを介して、遠隔操作が可能です。
- プリアラーム機能を装備、アラーム録画を開始する直前の映像から録画できます。
- フレームレートの設定はチャンネルごとに設定できます。
- 500GBまたは250GBのHDDを1台標準装備、別途1台増設可能です。

*. 最大記憶容量は1TBです。

- 外部記録装置を使用して4TBまで積載が可能です。

*. 「外部記録装置」と「本体内部のHDD+リムーバブルHDD」との同時使用はできません。

- バックアップメディアはDVD+RWとポータブルUSBディスクが使用できます。
- 映像スルー出力端子を各1系統装備しています。
- スポットモニタ出力を1系統装備しています。
- 専用キーボードMKB-931を使用すると本機とケーブル1本で接続され、PTZカメラを含めた操作が飛躍的に向上します。
- ライブ映像のチャンネル入れ替えはマウストラッグにより簡単に入れ替えができます。
- VGAモニター出力端子を装備しています。
- 音声入力端子を4系統、出力端子を1系統装備しています。
- 各カメラ映像に対して30×24ユニットの動き検知機能を装備しています。
- フル画面および4画面シーケンシャル機能を装備しています。
- ワイヤレスリモートコントロールユニットを付属しています。

* 弊社PTZカメラの操作可能。

* 複数のDVRが制御可能。(最大255台まで)

- 週間タイマー機能を装備しています。
- デジタルズーム機能装備しています。(ライブ映像)
- 操作性にすぐれたジョグ&シャトルダイヤルを装備しています。
- ビデオロス時、アラームアウトからワンショット信号がでます。
- HDD不具合時、約1分後にアラームアウトからワンショット信号がでます。

*発報後は電源のON/OFFが必要です。

3. 各部の名称

3-1. 正面パネル

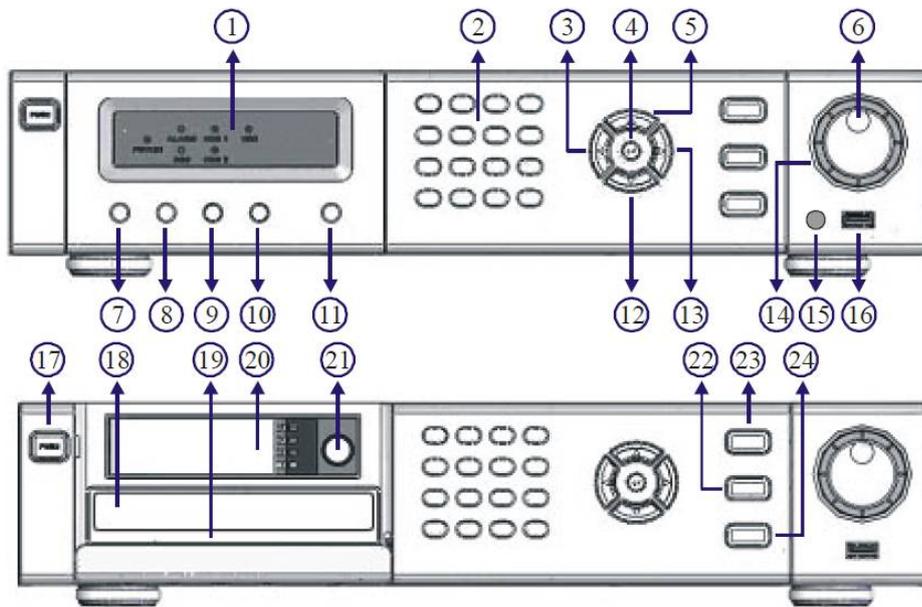


図1

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 液晶パネル | 9. 再生一時停止 | 17. HDDパネルオープン釦 |
| 2. カメラ選択、多画面切替 | 10. 再生停止 | 18. DVD+RW挿入部 |
| 3. 左釦(移動・選択) | 11. 多画面/フル画面 | 19. DVD取り出し |
| 4. 設定釦 | 12. 下釦(移動・選択) | 20. リムーバルHDDトレイ |
| 5. 上釦(移動・選択) | 13. 右釦(移動・選択) | 21. HDDロック |
| 6. ジョグダイヤル | 14. シャトルダイヤル | 22. メニュー釦 |
| 7. 録画/録画停止 | 15. 赤外線受光部 | 23. エスケープ |
| 8. 再生 | 16. USB 2.0コネクタ | 24. バックアップ |

「LEDパネル」

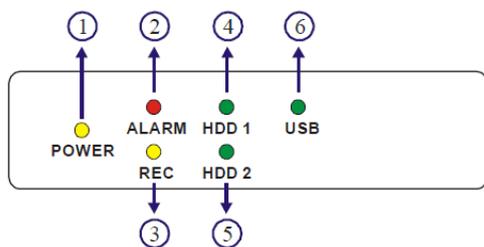


図2

No.	LED	説明
1	電源	DVR 電源の ON/OFF 表示
2	アラーム	アラーム表示
3	録画	録画中
4	HDD1	マスターHDD 使用中
5	HDD2	スレーブ HDD 使用中
6	USB	USB使用中

3-2. 背面パネル

■MDR-6160背面パネル

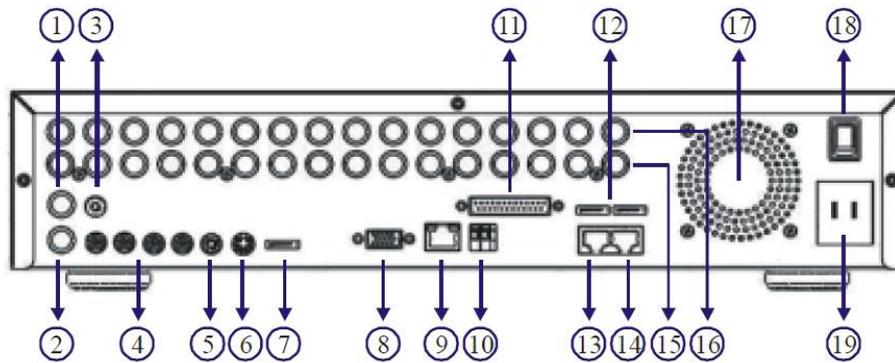


図3

■MDR-6080背面パネル

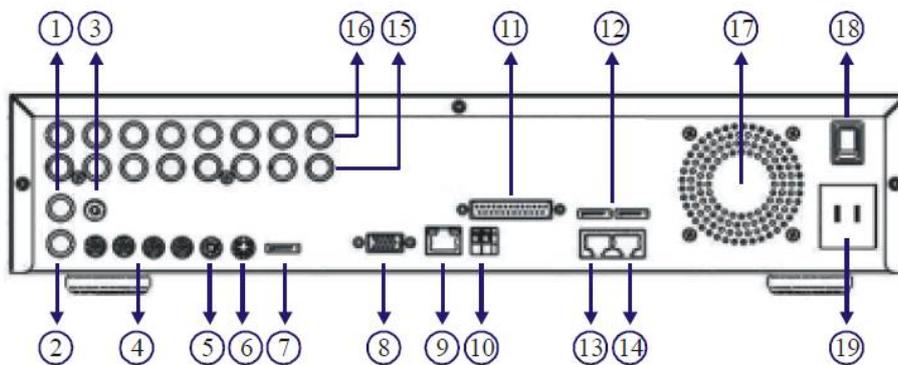
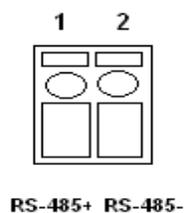


図4

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. スポット／4分割モニタ出力 (BNC) | 11. アラーム入出力端子 (Dsub-25ピン) |
| 2. メインモニタ出力端子 (BNC) | 12. 外付HDD接続端子 |
| 3. 外部IR端子 | 13. RS-485 キーボード入出力端子 |
| 4. 音声入力端子 (RCAピン) | 14. RS-485キーボード出力端子 |
| 5. 音声出力端子 (RCAピン) | 15. スルー出力端子 |
| 6. マウス接続端子 (PS/2) | 16. カメラ映像入力端子 |
| 7. マウス接続端子 (USB) | 17. ファン |
| 8. VGA端子 | 18. パワースイッチ |
| 9. ネットワーク端子 (RJ-45) | 19. 電源入力端子 |
| 10. RS-485出力端子 (PTZカメラ用) | |

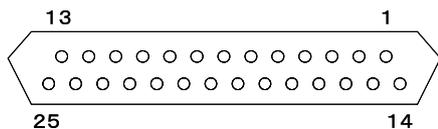
3-3. RS-485端子



端子	仕様
1	RS-485+ PTZ カメラ用
2	RS-485- PTZ カメラ用

図5

3-4. D-sub25ピンコネクタの配置



本体側(メス)

図6

端子番号	仕様
1	アラーム入力 1
2	アラーム入力 2
3	アラーム入力 3
4	アラーム入力 4
5	アラーム入力 5
6	アラーム入力 6
7	アラーム入力 7
8	アラーム入力 8
9	アラーム入力 9
10	アラーム入力 10
11	アラーム入力 11
12	アラーム入力 12
13	アース

端子番号	仕様
14	アラーム入力 13
15	アラーム入力 14
16	アラーム入力 15
17	アラーム入力 16
18	未使用
19	未使用
20	アース
21	アラーム コモン
22	アラームNC (通常短絡)
23	アラームNO (通常開放)
24	アース
25	アース

3-5. RJ-45のピン配置

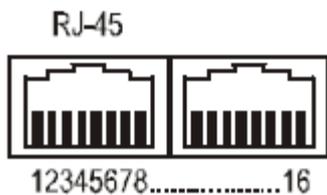


図7

No.	名前
1	—
2	—
3	—
4	—
5	RS-485 -出力 キーボードへ
6	RS-485 +出力 キーボードへ
7	アース
8	DC+12V 入力
9	—
10	—
11	—
12	—
13	RS-485 -DVR へ
14	RS-485 +DVR へ
15	アース
16	—

3-6. リモートコントローラ

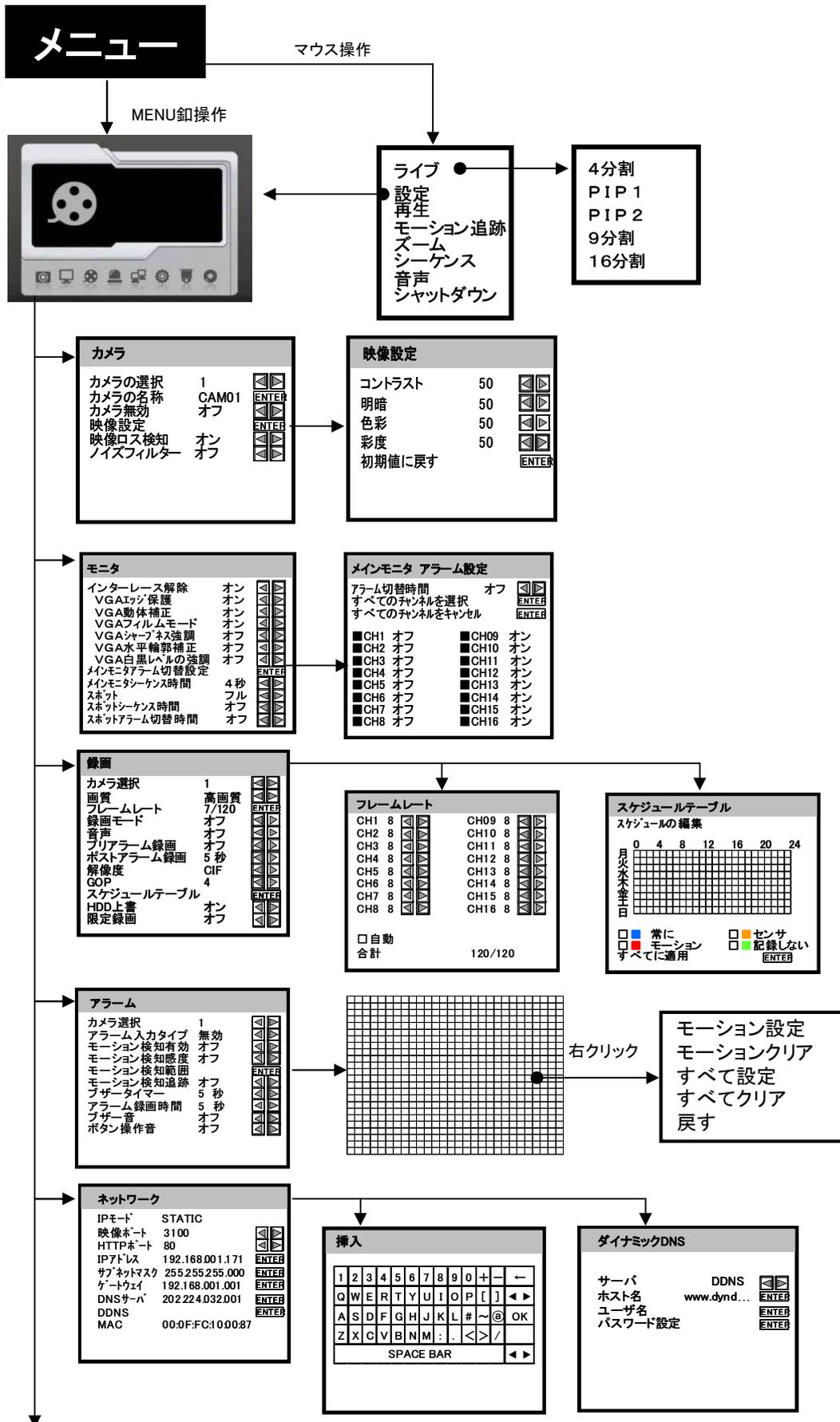


MDR-6160操作鈕	
REC	録画／録画停止
ZOOM	2倍デジタルズーム(ライブ映像)
ESC	エスケープ(前の画面に戻る)
MENU	セットアップ メニュー表示
CH+	カメラ映像チャンネル送り
CH-	カメラ映像チャンネル逆送り
⏸	停止(再生)
▶	再生
⏸	一時停止(再生)
◀	逆戻し
▶	早送り
PIP	ピクチャー・イン・ピクチャー
4分割画面表示アイコン	4分割画面表示
8分割画面表示アイコン	8分割画面表示(6080は未使用)
9分割画面表示アイコン	9分割画面表示
13分割画面表示アイコン	13分割画面表示(6080は未使用)
16分割画面表示アイコン	16分割画面表示(6080は未使用)
BACKUP	映像バックアップ
MUTE	音声切
AUDIO	音声入
SEQ	自動画面送り
FREEZE	リアル映像の停止
DVR	DVR選択
NTSC/PAL	NTSC/PAL切替
LANGUAGE	使用言語選択

PTZ 操作(黄)		PTZ 操作(青)		数字(水色)
AUTO PAN	オートパン	↑	上	0 ~9
ZOOM IN	ズーム イン	↓	下	
ZOOM OUT	ズーム アウト	←	左	
PRESET	プリセット	→	右	
		ENTER	エンター/セット	

図8

4. メニュー画面一覧



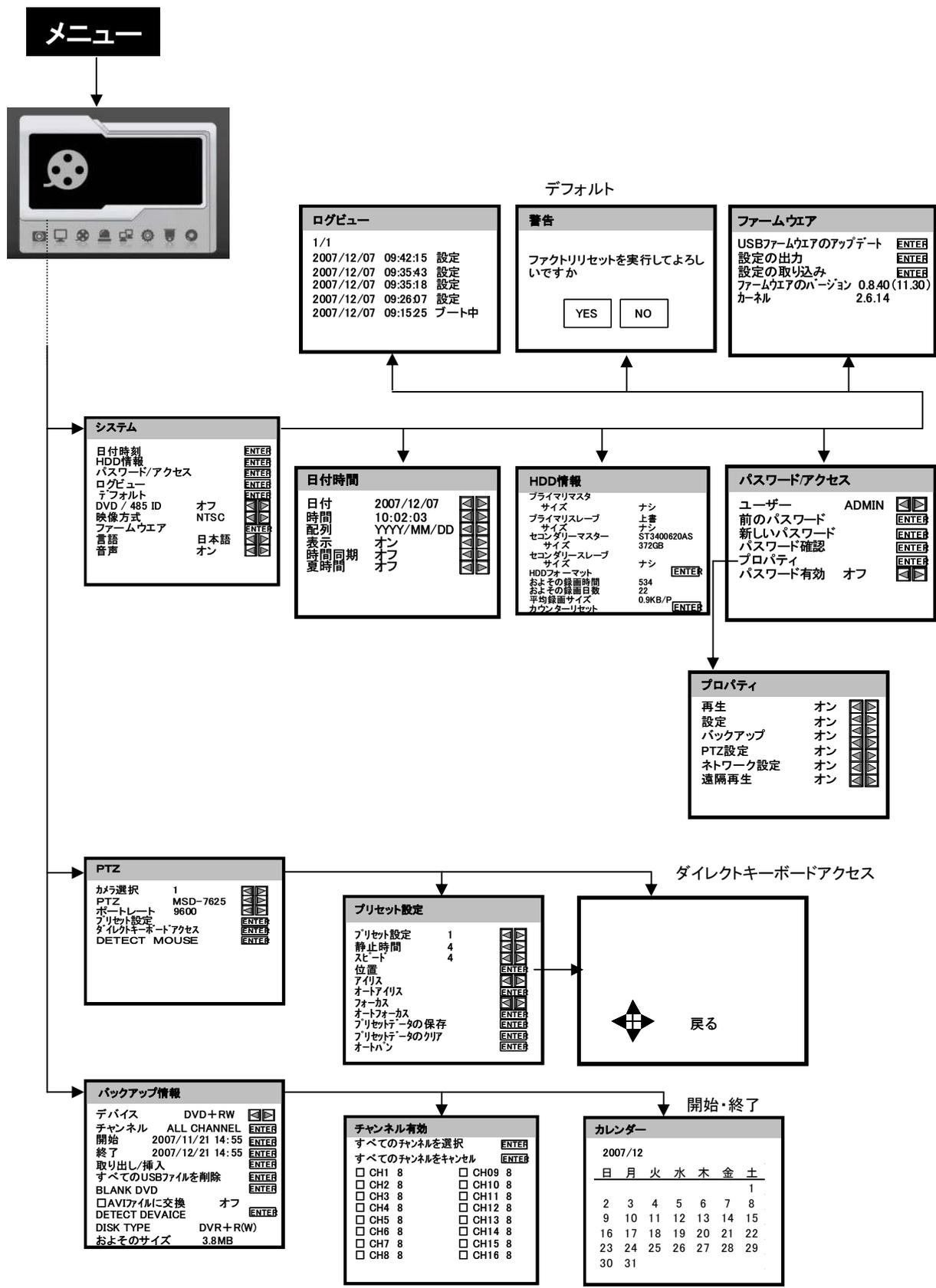


図10

5. 接続例

5-1. DVR1台と専用キーボード(MKB-931)1台の接続

・キーボードとDVRはRJ-45ケーブル1本で直接接続できます。キーボードには電源の接続は必要ありません。

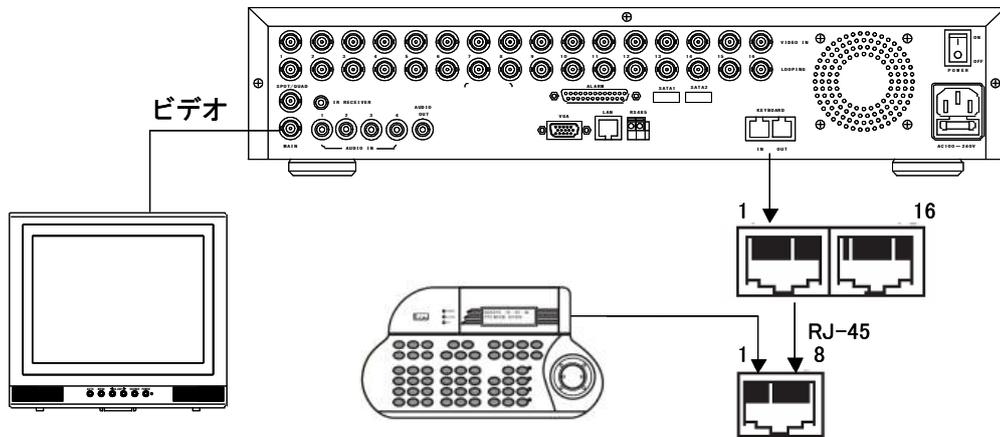


図11

5-2. 複数のDVRとキーボード1台の接続

- ・キーボード1台で複数のDVRを操作するときは下記のように接続します。
- ・DVRの最大接続数は255台です。

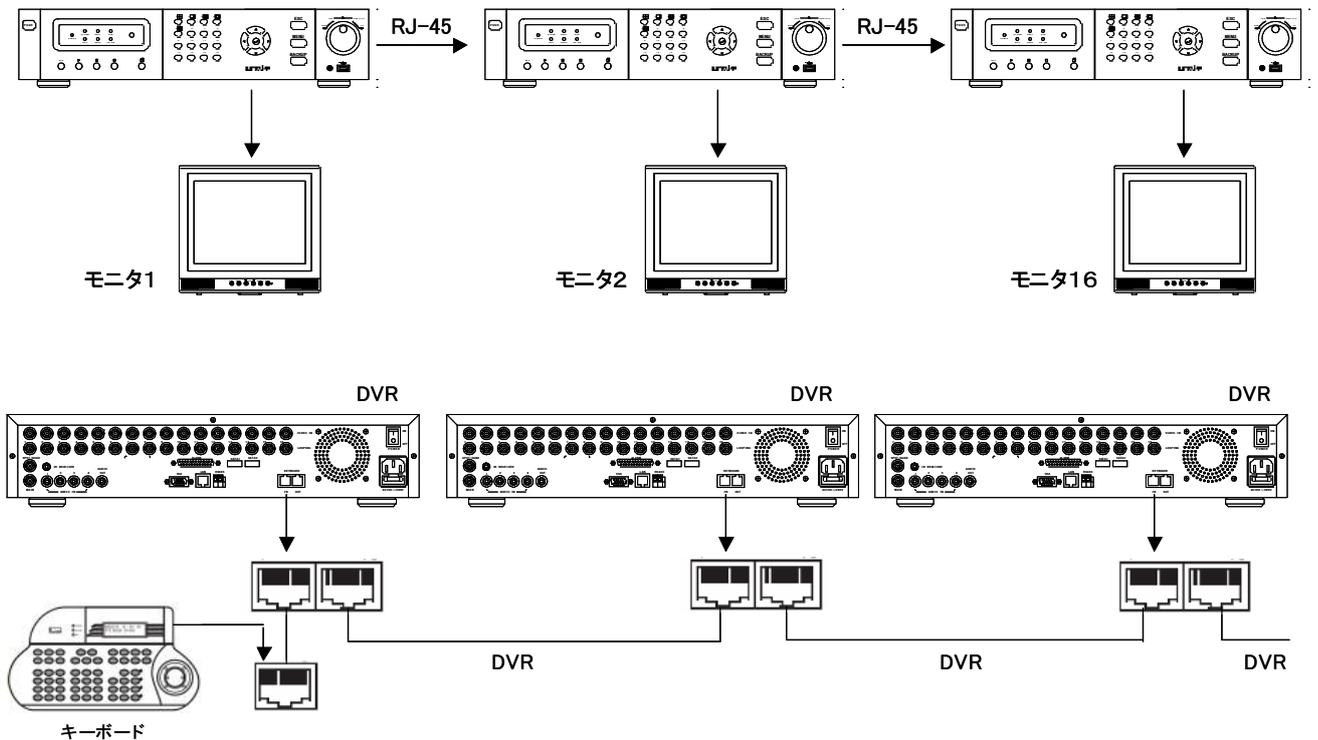


図12

5-3. DVR1台とPTZカメラ1台の接続

- ・PTZをDVRに接続するためにはツイストペア線を使用してください。
- ・接続の詳細はPTZカメラの取扱説明書を参照してください。
- ・キーボードの操作はP46を参考にしてください。

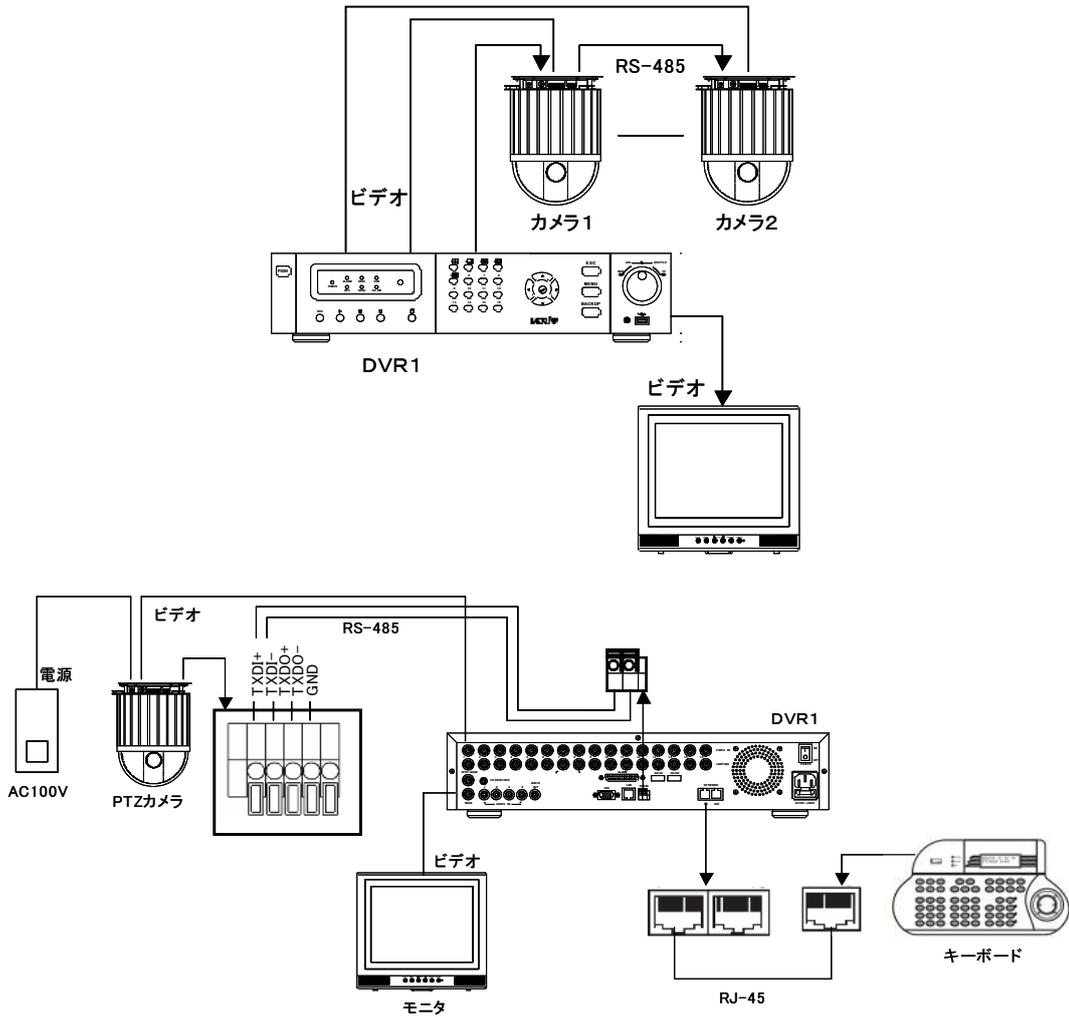


図13

5-4. 複数のDVRと複数のキーボードの接続

■概略図

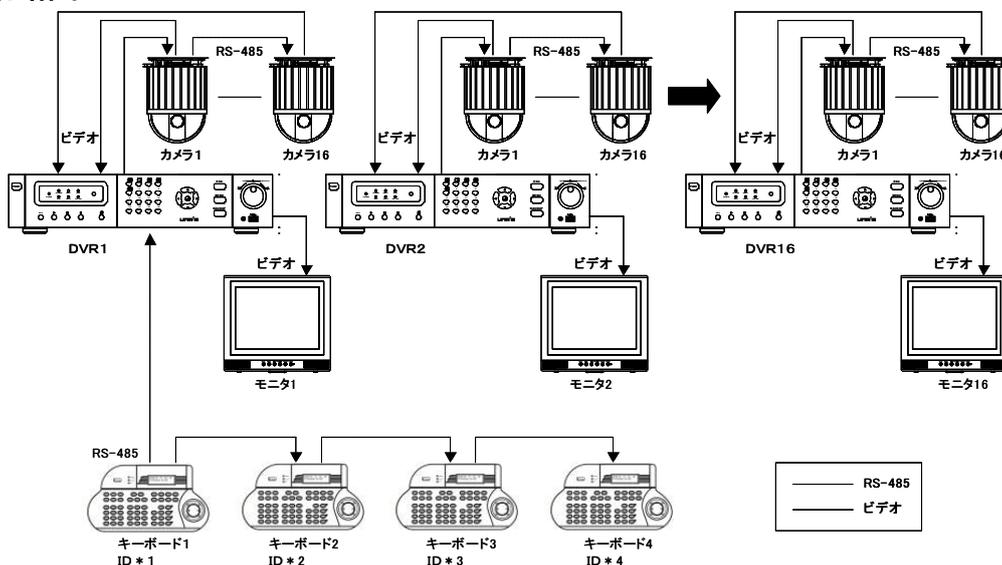


図14

■システム図

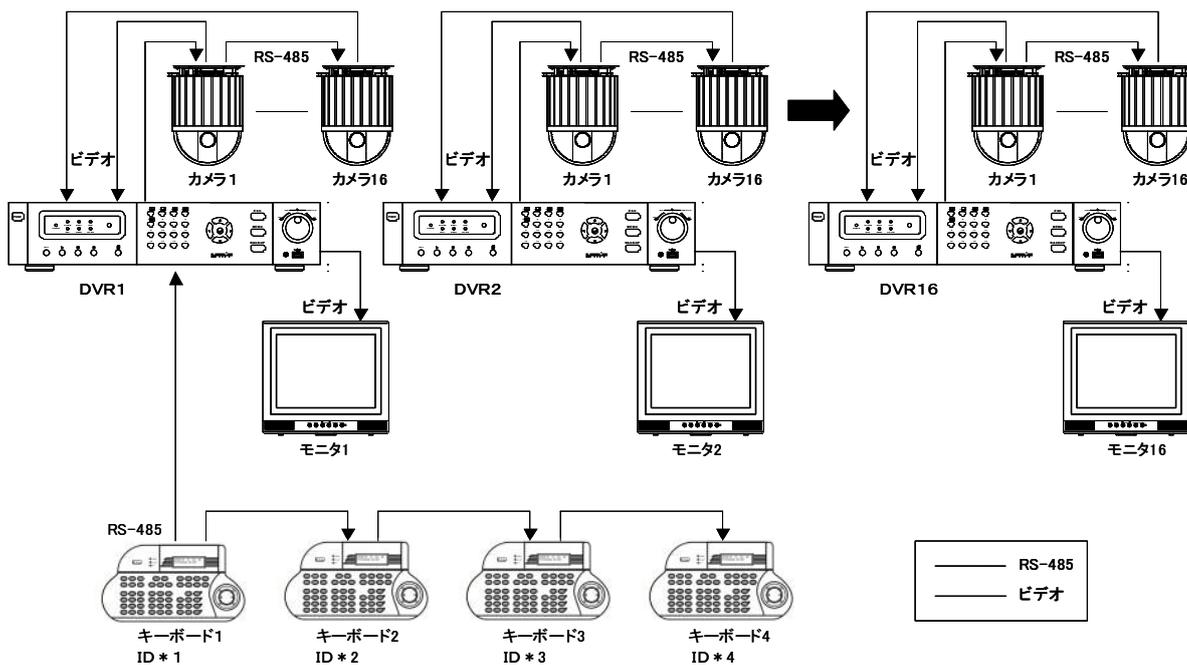
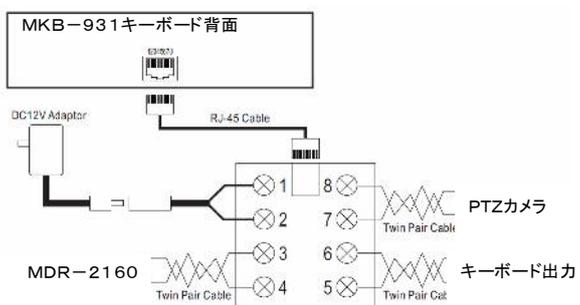


図 15

■コネクターボックス(MKB-931付属)



端子番号	仕様
1	DC+12V入力
2	アース
3	RS-485+ DVR
4	RS-485- DVR
5	RS-485+出力 キーボード
6	RS-485-出力 キーボード
7	RS-485+入力 PTZ/マトリックス
8	RS-485-入力 PTZ/マトリックス

図 16

5-5. 外部HDDユニット

- ・外部HDDユニットを使用するときは次の手順に従ってください。
- ・外部HDDユニットを使用したときは内部のHDDは使用できません。

- ①DVRの電源を切り、壁のコンセントを抜きます。
- ②DVRの上蓋をはずし、図17のように配線を変えます。

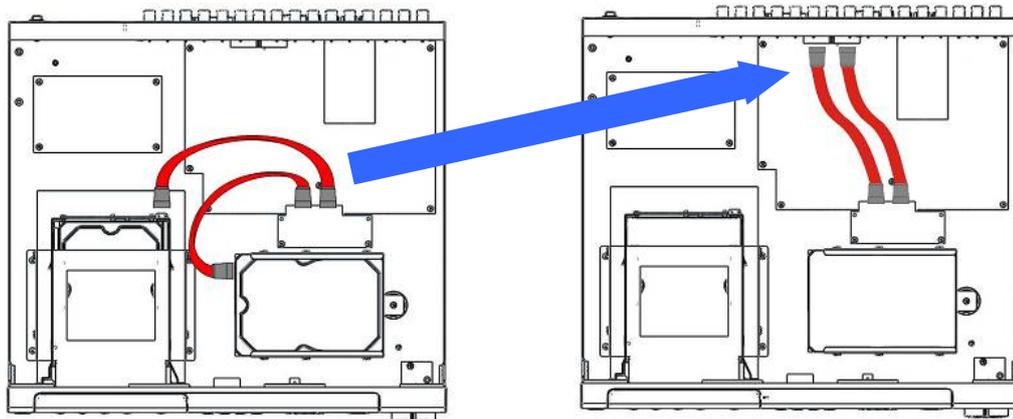


図17

- ③取り外した上蓋を取り付けます。
- ④外付HDD接続端子へ外部HDDユニットを接続します。

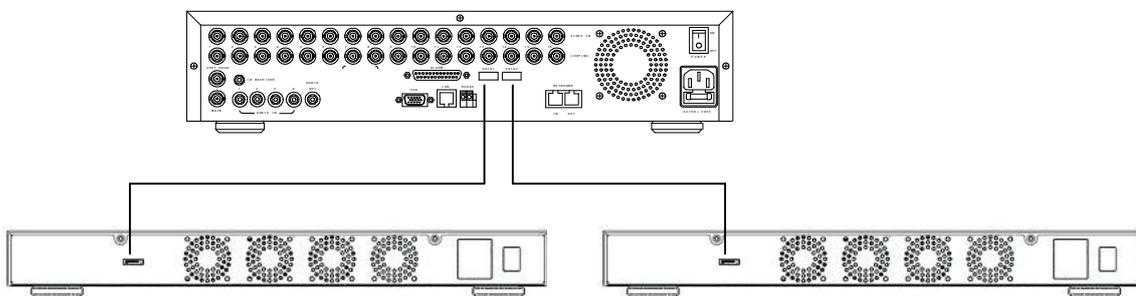


図18

注意: 通電前に必ず外部HDDユニットの取扱説明書をよくお読み下さい。

- ⑤DVRの電源を入れると、接続された外部HDDユニットを自動的に認識します。

6. 機器設定とマウス操作

6-1. マウス操作とマウスメニュー

6-1-1. マウス操作

- ①本機は、マウス(USBまたはPS/2)を使用して機器設定ができます。

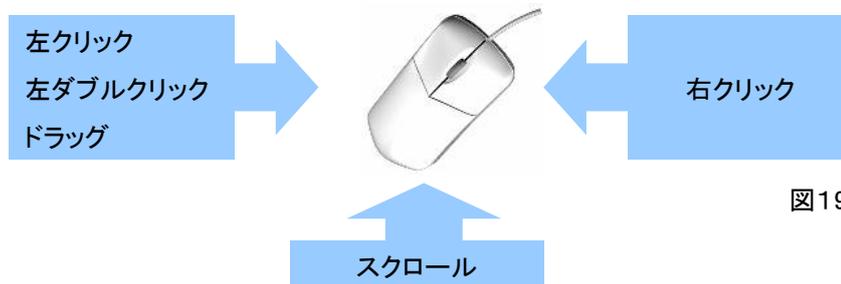


図19

- 左クリック** :メニュー項目を選択します。
分轄モード時、起動モード(アクティブカメラ)でカメラを選択します。
- 左ダブルクリック** :分割モード時、フルスクリーンモードを選択します。
- ドラッグ** :ドラッグしたカメラを任意の指定したカメラとの入れ替えができます。
- スクロール** :セットアップメニュー時、マウススクロールで値を増減することができます。
- 右クリック** :サブメニューシステムまたはメインメニューに戻ります。

②メニューバーの説明

・カーソルを画面下に移動するとMENUバーが表示されます。



メニュー	マウスメニュー		ズームモード
DVR: 002	DVR制御 ID/RS-485 ID		自動切換え
ID: 02	DVRのアドレス ID/RS-485 ID		PTZカメラ・プリセットモード
	マニュアル録画		ネットワーク・インジケータ
	スケジュール録画モード		音声ON/OFF

図20

6-1-2. マウス操作メニュー

画面下の「メニュー」バーをクリックして、各項目を選択します。

①ライブ

4 分割 : 4 分割画面にします。

PIP1 : 子画面を 1 個表示します。

PIP2 : 子画面を 2 個表示します。

9 分割 : 9 分割画面にします。

16 分割 : 16 分割画面にします。

◆元に戻す時は再度、「メニュー」→「ライブ」→「16 分割」で戻します。

②設定

「6-2. カメラ設定」～「6-8. PTZカメラコントロールの設定」を参考にしてください。

③再生

「8. 再生」を参考にしてください。

④モーション追跡

感知枠内で動きが継続されているものを赤い枠で表示します。

注意:アラーム設定(5-5)で下記の設定が必要です。

- ・モーション検知有効
- ・モーション検知感度
- ・モーション検知範囲

⑤ズーム

マウスメニューの「ライブ」→「ズーム」を選択します。

フル画面上で拡大したい箇所をマウス・ドローすると拡大されます。右クリックで元に戻ります。

⑥シーケンス

マウスメニューの「ライブ」→「シーケンス」でフル画面のシーケンスが始まります。

注意: モニタ画面設定(5-3)の「メインモニタ・シーケンス時間」の設定が必要です。

⑦音声

ライブ音声のオン・オフを設定します。

⑧シャットダウン

「シャットダウン」を選択すると本機は休止状態に入ります。(録画などはできません。)

正面パネルの「ESC/SHUTDOWN」を 10 秒ほど押し続けると復帰します。

6-2. カメラ設定

①マウスで「メニュー」をクリックしてカメラ設定画面を表示します。

(本体の「MENU」釦操作では図21、図22は表示されません。)



②カメラの選択

・選択するカメラ番号を選択します。(例:カメラ1を選択したいときは1を選択)

設定内容 → 1~16、全部

③カメラ名称

・カメラ名称を選択して「ENTER」を押します。

・任意の名称を記入します。(図25の文字参照)文字数は最大12文字です。

挿入 CAMO1_

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	=	←	→	Back	戻る
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	{	}	←→	→	Cursor	カーソル
A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	`	:	OK	→	Enter	確認
Z	X	C	V	B	N	M	<	>	/			←2→	→	Page	ページ

← Back : 青色のカーソルが表示され、ひとつ前のデータが消去されます。

←→ Cursor : ENTERでカーソルが移動します。

←2→Page : ENETRでページ送りができます。

・終了するときには「ESC」を押すと、一つ前の画面に戻ります。

図25

④カメラ無効

モニターにカメラ映像を表示するかしないかを選択します。

オン : 表示しない

オフ : 表示する

⑤映像設定（通常は変更の必要はありません。）

カメラ映像の明るさ、色などを調節できます。

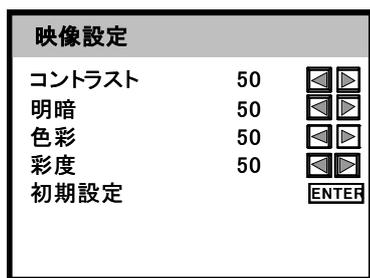


図26

⑥映像ロス表示

入力信号が無いときモニター上に「VIDEO LOSS」と表示するかしないかを選択します。

⑦ノイズフィルター

周辺が暗い時、ノイズの改善をするかしないかを選択します。

オン :ノイズフィルター オン

オフ :ノイズフィルター オフ

18:00~6:00 :指定時間内はオン

6-3. モニター画面の設定

①ピクチャー・イン・ピクチャー(PIP)画面表示

・マウスで「メニュー」をクリック、ライブでPIP画面が表示されます。

4画面 :4画面表示

PIP1 :子画面を1画面表示

PIP2 :子画面を2画面表示

9分割 :9画面表示

16分割 :16画面表示

・マウスドロ操作により画面の入れ替えができます。

・4画面に戻す時は再度、マウスでメニュー⇒ライブ⇒4画面を選択します。

②マウスで「メニュー」をクリックしてモニタ設定画面を表示します。

(本体のMENU操作では図27、図28は表示されません。)

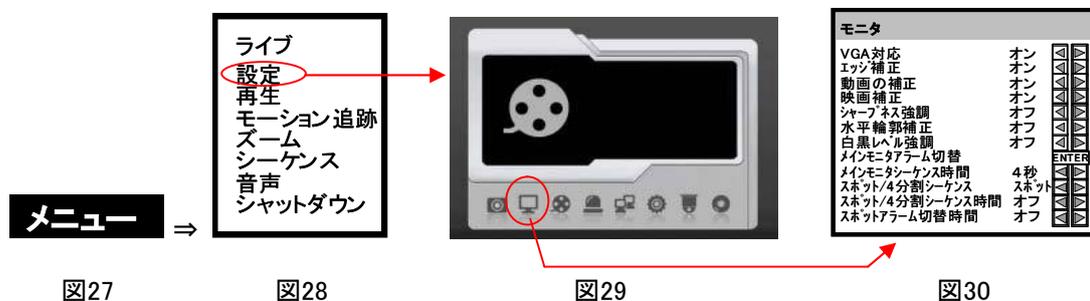


図27

図28

図29

図30

③下記の項目をそれぞれ設定します。(通常は設定の必要はありません。)

VGAモニターは以下の表で表されます。

	OFF	ON
非インターレース に対応		
輪郭強調		
動体補正		
フィルムモード		

図31

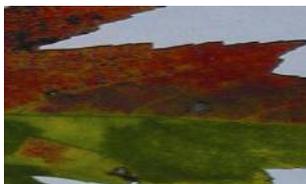
	OFF	ON
シャープネス		
水平輪郭補正		
白黒レベル伸張		

図32

(白黒レベル強調範囲⇒オフ、50 60 70 80 85 90 100%)

④メインアラームスイッチ

・図30の「メインモニターアラーム切替設定」にカーソルを移動して「ENTER」を押して図33を表示します。

メインアラームスイッチ	
スポットモニターアラーム切替時間	オフ
すべてのチャンネルを選択	ENTER
すべてのチャンネルをキャンセル	ENTER
■ CH1	オフ
■ CH2	オフ
■ CH3	オフ
■ CH4	オフ
■ CH5	オフ
■ CH6	オフ
■ CH7	オフ
■ CH8	オフ
■ CH9	オン
■ CH10	オン
■ CH11	オン
■ CH12	オン
■ CH13	オン
■ CH14	オン
■ CH15	オン
■ CH16	オン

図33

・メインモニターアラーム切替時間は下記の通りに切り替えられます。

切替時間 : オフ、1、2、3、4、5、6、7秒

・カメラ選択ボックスにチェックをいれてカメラを選択します。

・アラーム発報した時にメインモニターはフルスクリーンで表示されます。

⑤メインモニターシーケンス時間

・メインモニターの切り替え時間を設定します。

設定時間 ⇒ 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10秒

・設定後、[OK]、右クリックとしてメニュー画面を終了します。(ESC釦でも終了できます。)

・リモコンの「SEQ」釦を押すとシーケンスを開始します。

・再度「SEQ」釦を押すと停止します。

⑥スポット/4分割シーケンス

・スポットモニター出力端子にフル画面または4分割でシーケンスするかを選択します。

⑦スポット/4分割シーケンス時間

・スポットモニター出力端子のシーケンス時間を設定します。

設定時間 ⇒ オフ、1、2、3、4、5、6、7秒

⑧スポットアラーム切替時間

・スポットモニター出力端子はアラーム発生時、アラーム発報したカメラに指定した時間映像が切替ります。

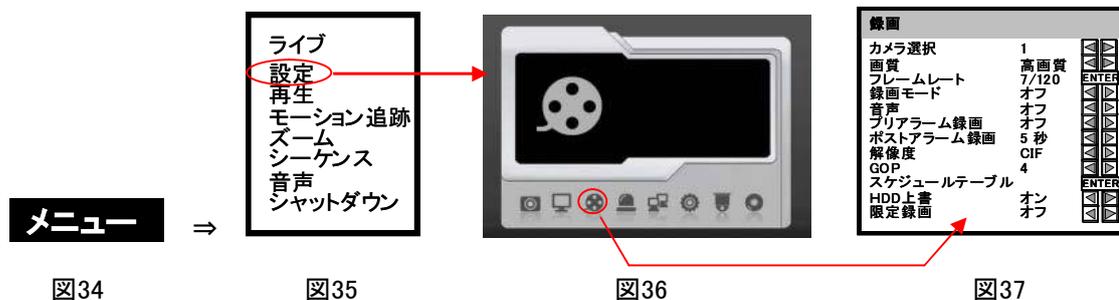
設定時間 ⇒ オフ、1、2、3、4、5、6、7秒

6-4. 録画設定

①録画設定画面の表示

・マウスで「メニュー」をクリックして録画設定画面を表示します。

(本体のMENU操作では図34、図35は表示されません。)



②カメラの選択

・選択するカメラ番号を選択します。(例:カメラ1を選択したいときは1を選択)

③録画解像度(録画画質の選択)

最高画質 ⇒ 高画質 ⇒ 標準 ⇒ 長時間

④フレームレート(録画フレームレートの設定)

・各々のカメラごとに録画フレームレートを設定できます。設定は左釦または右釦で設定します。

フレームレート		フレームレート	
CH1 8	CH09 7	CH1 4	CH09 4
CH2 8	CH10 7	CH2 4	CH10 4
CH3 8	CH11 7	CH3 4	CH11 4
CH4 8	CH12 7	CH4 4	CH12 4
CH5 8	CH13 7	CH5 4	CH13 4
CH6 8	CH14 7	CH6 4	CH14 4
CH7 8	CH15 7	CH7 4	CH15 4
CH8 8	CH16 7	CH8 2	CH16 2
<input type="checkbox"/> 自動 合計 120/120		<input type="checkbox"/> 自動 合計 60/60	

CIFモード フィールドモード

注意:

- ・フレームレートの最大合計数はCIF⇒120FPS、フィールド⇒60FPSです。
- ・これを越えての設定はできません。図38は初期設定値です。
- ・フィールド時はCH1からCH8までが30/60, CH9からCH16までが30/60の範囲内で変えられます。
- ・CIFはCH1からCH16の間で120/120以内で設定できます。
- ・自動の項目にチェックを入れると1秒間に60フィールド(または120CIF)の間隔で録画します。

⑤録画モード

- ・各々のカメラを録画するかしないかを設定します。

オフ : 正面パネルのREC釦操作で録画します。

スケジュール: スケジュール表に従って自動録画します。

⑥音声

- ・DVRに録音されることができる音声入力は最高4つまでです。
- ・音声チャンネルを特定のカメラに割り当ててご使用下さい。

⑦プリアラーム

- ・センサー発報した時、発報した時からさかのぼって録画(160のイメージ)します。

⑧ポストアラーム

- ・センサー発報後、録画する時間を設定します。

設定時間 ⇒ オフ、1~100秒

⑨録画解像度

- ・720×240(フィールド)または360×240(CIF)で録画できます。
- ・初期設定は360×240です。
- ・設定の変更は左釦または右釦で選択します。

⑩GOP(Group of Pictures)

- ・圧縮方式はMPEG-4とH.264です。

1、4、8、16

⑪スケジュール設定

- ・1週間の録画予約ができます。

例1. 月曜日の12時から1時間だけモーション録画するとき

- ・スケジュールの編集の背景色をENTER釦で、黄色からピンクに変えます。月から日までの変更が可能になります。
- ・選択釦で設定場所に設定枠を移動し、ENTER釦を押して赤に変えます。
- ・ESC釦を押し、スケジュールの編集の背景色を黄色に戻します。
- ・OKを選択し、ESC釦を押してスケジュールの編集を終了します。

スケジュールテーブル		スケジュールの編集						
		0	4	8	12	16	20	24
月								
火								
水								
木								
金								
土								
日								

常に センサ
モーション 未録画
すべてに適用

図 39

例2. 月から日まですべてモーション録画状態にするとき

- ・スケジュールの編集の背景色が黄色であることを確認します。
- ・選択釦でモーションの升目にENTER釦でチェックを入れます。
- ・すべてに適用を選択し、ENTER釦を押してOKですべて赤い色に変わり、モーション録画状態になります。
- ・ESC釦を押してスケジュールの編集を終了します。

⑫HDDの上書設定

- ・HDDを上書するかしないかを設定します。

オン: 上書する

オフ: 上書しない

⑬限定録画

- ・指定した期間、録画することができます。指定した期間を過ぎたらアクセスできません。

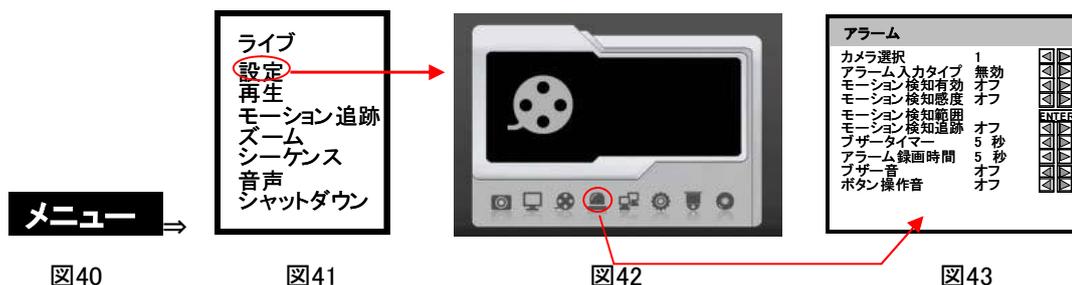
設定日数 ⇒ オフ、1~365日

6-5. アラーム設定

①アラームの設定画面を表示

- ・マウスで「メニュー」クリックしてアラーム設定画面を表示します。

(本体のMENU操作では図40、図41は表示されません。)



②カメラの選択

- ・カメラ番号を選択します。(例:カメラ1を選択したいときは1)

③アラーム入カタ입

無効

NO: 使用するセンサー機器は通常、開放状態のセンサーを使用します。

NC: 使用するセンサー機器は通常、閉塞状態のセンサーを使用します。

④モーション有効

オン: 録画します。

オフ: 録画しません。

⑤モーションの感度

- ・モーション録画の感度を設定します。(8段階)

最高 ⇒ 低 ⇒ レベル2 ⇒ レベル3 ⇒ 標準 ⇒ レベル5 ⇒ レベル6 ⇒ レベル7

⑥感知エリア設定

- ・感知エリアを任意に設定できます。感知エリアは30×24です。

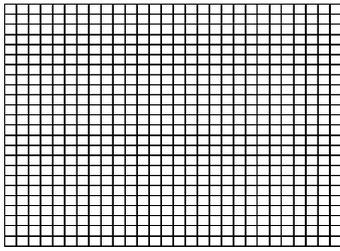


図44

モーション設定
 モーションクリア
 すべて設定
 すべてクリア
 戻す

図45

- ・図43からモーション検知範囲を選び、図44を表示します。
 - ・マウスを右クリックするとサブメニュー(図45)が表示されます。(パネル操作は「MENU」を押します。)
 - モーション設定 ⇒ この項目を左クリックすると各エリアごとに設定できます。
 マウスを左クリックすると灰色のかわり設定されます。マウストロー操作ではまとめて設定できます。
 - モーションクリア ⇒ この項目を左クリックするとモーション設定したエリアを解除します。
 設定されたエリアでマウスを左クリックすると解除されます。マウストロー操作ではまとめて解除できます。
 - すべて設定 ⇒ この項目を左クリックすると画面すべてが設定されます。
 - すべてクリア ⇒ この項目をクリックするとすべての設定は解除されます。
- 注意: パネル操作は「上」「下」「ENTER」釦で設定します。

⑦モーションブザー

- ・センサー発報時、ブザー音をならす時間を設定します。

⑧アラーム録画時間

- ・アラーム発報後、録画する時間を設定します。

⑨ブザー

- ・ブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

オン: ブザー音あり
 オフ: ブザー音なし

⑩釦操作音

- ・釦操作時の確認音を設定します。

オン: 音あり
 オフ: 音なし

6-6. ネットワークの設定

- ・遠隔監視の基本設定をします。
- ・ネットワークおよびIPアドレスについてはネットワーク管理者にご相談ください。

■監視用PCの環境条件

OS : Windows XPまたはWindows2000、またはそれ以上
 CPU : Pentium CPU
 メモリー : 512MB以上
 HDD容量 : 20GB以上の空容量(録画保存用)
 映像ポート : 80
 コマンドポート : 3100

注意1: PCのIPアドレス確認は次の手順で行ってください。(例: ウィンドウズXP/2000/NTの時)
 すべてのプログラム ⇒ アクセサリー ⇒ コマンドプロンプト
 ipconfig/allと記入してリターンキーを押します。

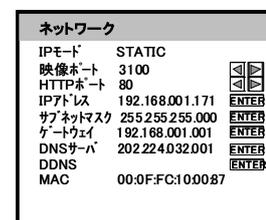


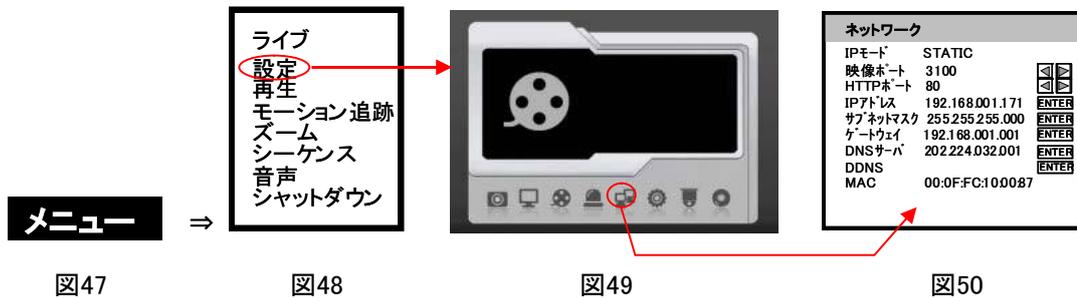
図 46

6-6-1. ネットワーク設定

①ネットワーク設定画面表示

マウスで「メニュー」をクリックしてネットワーク設定画面を表示します。

(本体のMENU操作では図47、図48は表示されません。)



②IPモード

STATIC (変更できません。)

③映像ポート

- ・映像を配信するためのポートです。
- ・初期値は 3100 です。

④HTTP(通常はポート80がオープンされています。)

- ・ホームページを閲覧するためのポートです。

⑤IPアドレス

- ・ネットワーク管理者から供給されたIPアドレスを記入します。
- ・初期値は 192. 168. 001. 171 です。

⑥サブネットマスク

- ・ネットワーク管理者から供給されたサブネットアドレスを記入します。
- ・ルータ使用時はルータに合わせて下さい。

⑦ゲートウェイ

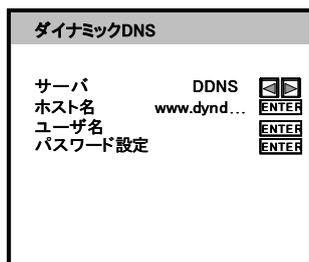
- ・ネットワーク管理者から供給されたゲートウェイアドレスを記入します。
- ・ルータ使用時はルータに合わせて下さい。

⑧DNSサーバ

- ・ネットワーク管理者から供給されたDNSサーバを記入します。

⑨DDNS

- ・ネットワーク管理者から供給されたDDNSを記入します。
- ・IPアドレスではなくドメイン名で登録して呼び出します。(例. <http://merit6160.com>、登録が必要です。)
- 有料と無料があります。プロバイダーにご相談ください。



サーバ DDNS
ホスト名 mdr6160 (例)
ユーザ名 MERIT (例)

パスワード 1111 (例)

注意: サーバ名を無効と選択したときはホスト名、ユーザ名、パスワードは未表示になります。

DDNS使用時、HTTPポート80を変更すると正しく動作しません。

⑩MACアドレス

- ・各イーサネットカードにつけられた固有のID番号です。
- ・本機の背面または裏面に記載されています。(変更できません。)

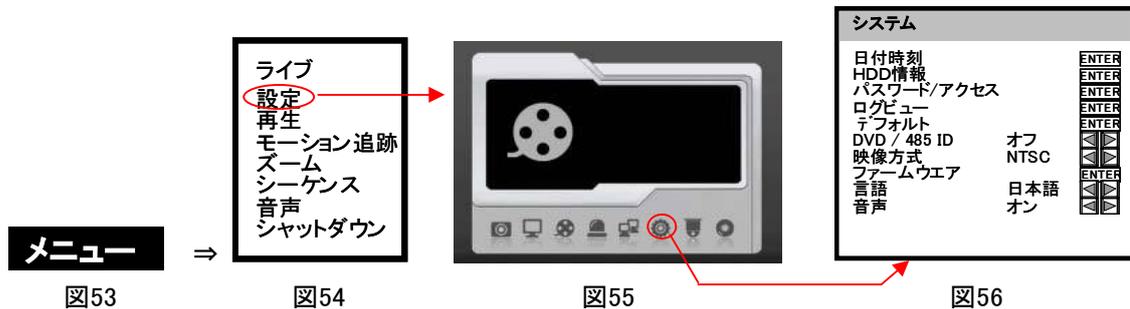
6-7. システムの設定

6-7-1. 日付時刻設定

①システムの設定画面表示

マウスで「メニュー」をクリックしてシステム設定画面を表示します。

(本体のMENU操作では図53、図54は表示されません。)



②日付時刻設定

③図56から日付時刻を選択して設定を行います。

④設定後、OKをクリックします。



図 57

6-7-2. HDD情報 (プライマリは使用していません。)

①図56からHDD情報を選択します。

②HDDのフォーマット(初期化)ができます。

③初期化にはパスワードが要求されます。

* 管理者デフォルトパスワードは「1111」です。



図 58

6-7-3. パスワード

①図56からパスワードを選択します。図59が表示されます。

②DVRはパスワード認証により不正アクセスを防いでいます。

③パスワードは4~8桁の間で設定できます。

初期のパスワードは下記の通りです。(図59のプロパティで制限できます。)

■Admin: 管理者—DVRのすべての設定・操作ができます

USERNAME admin(初期値)
PASSWORD 1111(初期値)

■Operator: 簡単操作のみできます。

USERNAME OPERATOR(初期値)
PASSWORD 2222(初期値)

■Guest: 見るだけで、操作はできません。

USERNAME GUEST(初期値)
PASSWORD 3333(初期値)

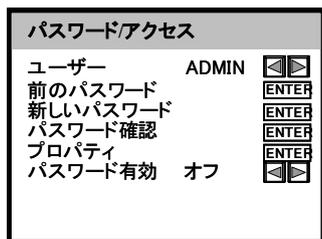


図59



図60

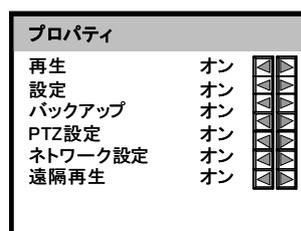


図61

6-7-4. LOG VIEW

- ①図56からログビューを選択してENTERをクリックします。



図62

- ②トラブルが発生した時の項目は下記の表に記述されます。

項目	説明
BOOTING	電源オン
SHUTDOWN	DVR切断
ABNORMAL OFF	異常時電源オフ
FORMAT	HDDフォーマット
V.LOSS	カメラ映像無し
WATCHDOG	ウォッチドッグスタート
SET CAMERA	カメラ設定
SET MONITOR	モニター設定
SET RECORD	録画設定
SET ALARM	アラーム設定
SET NETWORK	ネットワーク設定
SET SYSTEM	システム設定
SET PTZ	PTZカメラ設定
SET BACKUP	バックアップ
ADMIN LOG	アドミニストレータ ログイン
OPERATOR LOG	オペレータログイン
GUEST LOG	ゲストログイン
FILE RECOVERY	急に電源が切れた時のファイル回復

図 63

6-7-5. デフォルト

- ①システムを初期設定状態に戻します。
 ②図56からデフォルトを選択してENTERをクリックします。

注意:「デフォルト」は「IPアドレス」、「ビデオシステム」と「言語」の設定に影響を及ぼしません。

6-7-6. DVD/485ID

- ①DVRの識別番号を設定します。
 オン: 識別します (1~255)
 オフ: 識別しません
- ②各々のDVRのIDはリモコンまたはPIH-931Dキーボードで割りあてることができます。
- ③IDが指定されたDVR/RS-485はリモコンまたはPIH-931キーボードで特定のDVRのみ制御することができます。
- ④指定以外のDVRはリモコンまたはPIH-931キーボードの影響を受けません。

6-7-7. 映像方式（通常は変更の必要はありません。）

①図56から映像方式（NTSC/PAL）を選択します。（注意：日本はNTSCです。）

6-7-8. ファームウェアの更新（FIRMWARE:通常は変更の必要はありません。）

- ・ファームウェアの更新はDVRの操作性をアップします。
- ・詳細は弊社営業マンにおたずねください。

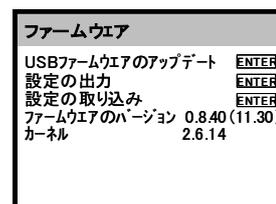


図 64

①USBソフトの更新

図56からファームウェアの更新を選択すると図64が表示されます。

《更新の手順》

- ・ホームページからソフトを入手し、自己解凍します。
- ・USBフラッシュディスクに空の「Firmware」ファイルを作り、解凍した「Flash6160.bin」を収納します。
(MDR-6080は「Flash6080.bin」です。)
- ・USB端子（正面パネル）にUSBフラッシュディスクをさしこみます。
MENU ⇒ システム ⇒ Firmware ⇒ ENTER釦 ⇒ 自動的に更新されます。
- ・更新後、電源の再立ち上げをします。
- ・再度図65を表示すると更新後のバージョンが確認できます。

②設定の出力 ……設定したデータ（カメラ名など）をUSBに一時、保存できます。

- ・図56から「ファームウェア」を選択すると図64が表示されます。
- ・USB端子に空のUSBフラッシュディスクを挿入します。
- ・「設定の出力」を選んで、ENTER釦をクリックします。
- ・USBフラッシュディスクに取り出されたデータはDVRへ再取り込みできます。

③設定の取り込み ……USBに保存したデータを本機へ戻します。

- ・図56から「設定の取り込み」を選択すると図64が表示されます。
- ・USB端子に②で取り出したUSBフラッシュディスクを挿入します。
- ・「設定の取り込み」を選んで、ENTER釦をクリックします。
- ・システムファイルに基づいて更新されます。

④バージョン (Version)

図56から「ファームウェア」を選択すると図64が表示されます。

表示された「ファームウェアのバージョン」はDVRの現在のバージョンを表示しています。

⑤カーネル

OSの基本機能を実装したソフトウェアのバージョンです。

6-7-9. 言語（通常は変更の必要はありません。）

図56から言語を選択します。

注意：リモコン操作中にリモコンに装備されている言語釦を触る可能性がありますのでご注意ください。

6-7-10. 音声

図56から音声を選択してオン・オフを設定します。

- オン：音声有
- オフ：音声無

6-8. PTZカメラコントロールの設定

6-8-1. カメラコントロール設定画面

マウスで「メニュー」をクリックしてPTZ設定画面(図68)を表示します。

(本体のMENU操作では図65、図66は表示されません。)

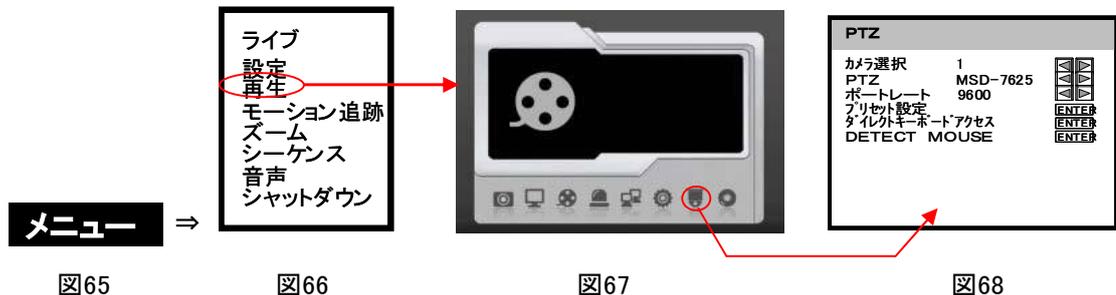


図65

図66

図67

図68

6-8-2. PTZカメラの設定 (以下の手順で設定します。)

基本操作: ◀ ▶ は数値の変更、ENTERは設定の確認および次の画面に移ります。

① 選択するカメラ番号を選択します。

例. 1 (カメラ1を選択します。)

② PTZカメラの選択 (機種名選択)

例. MSD-7625 (PTZカメラの機種を選択します。)

③ プリセットの設定

・プリセット設定を選択してENTERをクリック、プリセット設定の画面を開きます。

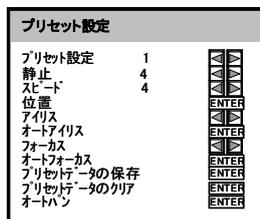


図69

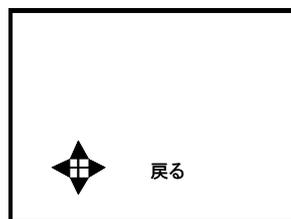


図70

・プリセット位置の設定 ← プリセットポジションを設定します。

例. 1 (プリセットポジション1番目を選択、1~64箇所まで設定可能です。)

・停止時間の設定 ← 自動切換えで動かした時の一時停止時間を設定します。

例. 3 (停止時間3秒間、0~255秒まで設定可能です。)

・移動スピードの設定 ← カメラを旋回させるスピードを選択します。

可変スピード: 1~8 (8が最高スピードです。)

・位置設定を選択してENTERをクリック、図70を表示します。

・画面上(図70)の十字をクリックすると矢印の方向へ移動します。(PTZカメラの時)

*. 正面パネルの「左」「右」「上」「下」「シャトル・ダイヤル」釦で操作できます。

・明るさを設定します。

アイリス : 明るさをマニュアル操作で設定します。

オートアイリス : 自動的明るさを調整します。

・フォーカス設定

フォーカス : ピント合わせをマニュアル操作であわせます。

オートフォーカス : ピント合わせを自動的に調整します。

・保存

ENTERをクリックすると設定したデータを保存します。

■以上でプリセット設定は完了です。同様にその他のポジションまたはカメラを設定してください。

⑪全プリセットデータの消去

すべてのプリセットデータを消去します。

⑫オートパン

・設定されたプリセット位置をオートパンします。

6-8-3. ダイレクトキーボードアクセス

①図68のダイレクトキーボードアクセスにカーソルを移動、「ENTER」をクリックすると図70表示されます。

②直接PTZカメラの操作ができます。

6-8-4. DETECT MOUSE

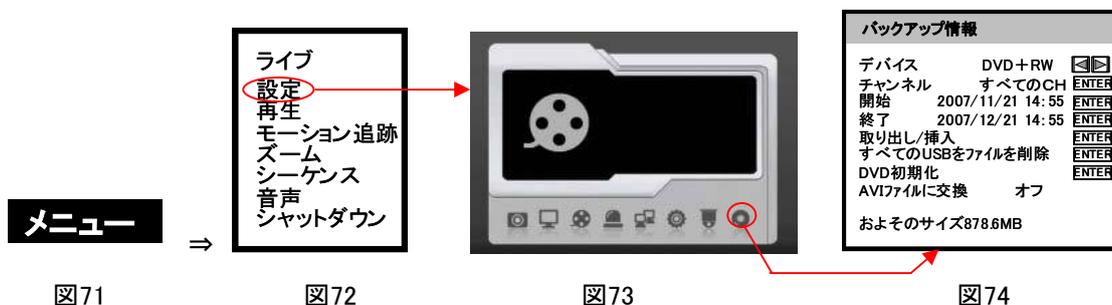
①マウスの初期化をします。

6-9. バックアップ情報

6-9-1. バックアップ情報画面の表示

マウスで「メニュー」をクリックしてバックアップ設定画面を表示します。

(本体のMENU操作では図71、図72は表示されません。)



■デバイスの選択により下記の図が表示されます。

バックアップ情報	
デバイス	USB
チャンネル	ALL CHANNEL
開始	2007/11/21 14:55
終了	2007/12/21 14:55
取り出し/挿入	
すべてのUSBをファイルを削除	
BLANK DVD	
<input type="checkbox"/> AVIファイルに交換	オフ
DETECT DEVAICE	
USB空きスペース	0MB
およそのサイズ	128MB

図75. USBの時

バックアップ情報	
デバイス	DVD+RW
チャンネル	ALL CHANNEL
開始	2007/11/21 14:55
終了	2007/12/21 14:55
取り出し/挿入	
すべてのUSBファイルを削除	
BLANK DVD	
<input type="checkbox"/> AVIファイルに交換	オフ
DETECT DEVAICE	
DISK TYPE	DVR+R(W)
およそのサイズ	3.8MB

図76. DVDの時

バックアップ情報	
デバイス	HDDファイル
チャンネル	ALL CHANNEL
開始	2007/11/21 14:55
終了	2007/12/21 14:55
取り出し/挿入	
すべてのUSBをファイルを削除	
BLANK DVD	
<input type="checkbox"/> AVIファイルに交換	オフ
DETECT DEVAICE	
およそのサイズ	128MB

図77. HDDの時

①デバイスの選択

・図74でカーソルを「デバイス」に移動して◀または▶をクリックしてバックアップ先を選択します。

USB ⇒USBへ (USB端子にUSBメモリーを接続してください。)

DVD+RW ⇒内蔵DVDへ (DVD+R/RWを挿入してください。本項目④を参考のこと)

HDDファイル ⇒バックアップ映像は一時的バッファに格納、そのデータはインターネットを介してダウンロードできます。バックアップ用に2GBのスペースを用意しています。

②チャンネル

・図74でカーソルを「チャンネル」に移動して「ENTER」をクリックします。

・すべてのチャンネルをバックアップまたは特定のチャンネルをバックアップするのを選択します。

- ・四角い枠の中でクリックするとチェックが表示され「OK」をクリックするとバックアップ設定が完了です。

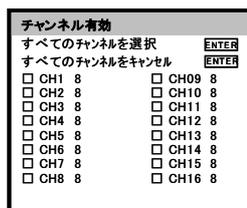


図78

③開始と終了

- ・ENTERを押して開始と終了を設定します。
- ・最下部におよそのバックアップの大きさが表示されます。

④取り出し／挿入 ← 内蔵DVDのトレイの出し入れを行います。

注意:HDDパネルオープン釦を押して液晶パネル部の蓋を必ず開けておいてください。

途中までしか開かないときは手でサポートしてください。

⑤すべてのUSBのファイルを削除

- ・USBメモリー内のデータを消去します。

⑥DVD確認

- ・DVD+RWが空きディスクかどうか確認します。(削除はPCで行ってください。)
- 推奨DVD: DVD+RWディスク推奨します。

⑥AVIファイルに変換

- ・Windows Media PlayerでAVIファイルを再生することができます。
- ・ただし、1つのチャンネルのみ取り出すことができます。

⑦DETECT DEVAICE

- ・デバイスを検出します。

⑧USB FREE SPACE

- ・未記録部分のサイズを表示します。

⑨およそのサイズ

- ・データとして使用中のサイズを表示します。

《HDDファイル例》

◆DVR 本体操作

- ・バックアップ情報画面を開く
- ・デバイス欄で「HDD ファイル」を選択する。
- ・チャンネル、ダウンロード時間を設定する。
- ・「DETECT DEVICE」をクリックして確認します。
- ・「OK」をクリックすると保存を開始します。

◆PC 操作

- ・ブラウザを立ち上げ、本機のアドレス(http://□□□. □□□. □□□. □□□)と記入します
- ・admin/1111 ⇒ Configure ⇒ Back up File downlard ⇒ FTP または HTTP をクリックする。
- ・PCに指定したデータをダウンロードできます。(ダウンロードのデータは少なめに表示されます。)

7. 録画

- ①本機は電源を入れると自動的に録画を開始します。(デフォルト時)
- ②解除するには MENU →録画→ENTER →カメラ選択を全部する→録画モードをオフにします。
- ③最後にOKを押すと設定が完了します。
- ④この状態で録画釦を1回押すとマニュアル録画(またはスケジュール録画)、再度録画釦を押すとスケジュール録画(またはマニュアル録画)と表示され録画が開始されます。
ただし、スケジュール録画が設定されていないとき、録画は開始されません。

7-1. 通常録画 (録画解像度 640×240の時)

- ①項目6-4の録画設定を行います。
設定後、ESC釦を押してMENU画面を消します。
注意. スケジュール設定はここでは必要ありません。
- ②録画釦(REC)を押すと録画が開始されます。
- ③録画を停止する時は再度、録画釦(REC)を押します。

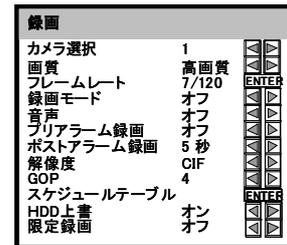
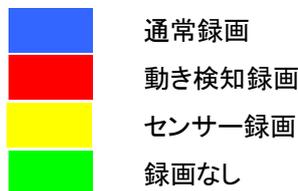


図 79

7-2. スケジュール録画 (週間タイマー)

- ①項目6-4の録画設定を行います。
- ②図79スケジュールを選択し、図81を表示します。
- ③録画予約の条件を記入します。



設定後、ESC釦を押してMENU画面を消します。

- ④録画釦を押すと録画待機状態に入り、設定時間がくると録画が始まります。また停止時間がくると停止します。

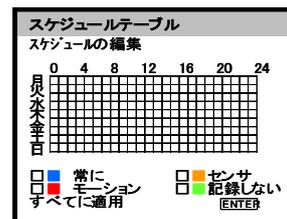


図 80

7-3. アラーム録画

- ①項目6-5のアラーム録画設定を行います。
設定後、ESC釦を押してMENU画面を消します。
- ②録画釦(REC)を押すと録画待機状態となりアラームがあったとき録画が開始されます。
- ③録画を停止する時は再度、録画釦(REC)を押します。



図 81

7-4. モーション検知録画

- ①項目6-5のモーション検知設定を行います。
設定後、ESC釦を押してMENU画面を消します。
- ②録画釦(REC)を押すと録画待機状態となりモーション検知があったとき録画が開始されます。
- ③録画を停止する時は再度、録画釦(REC)を押します。

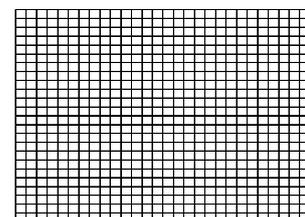


図 82

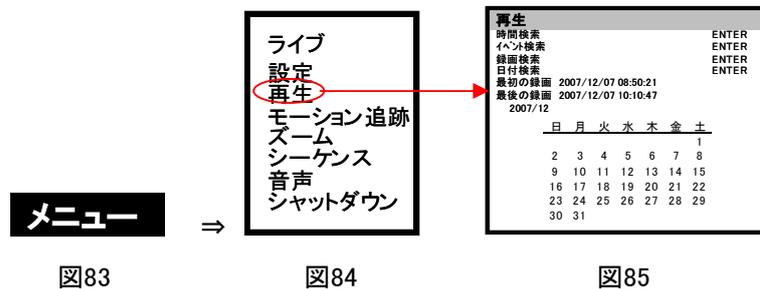
8. 再生(マウス操作による操作)

- ①ライブ映像および再生映像時、映像データがない時は青色で表示されます。
- ②通常は16画面で再生されます。フル画面で再生をしたいときは正面パネルの「多画面/フル画面」の釦を押します。次に任意のカメラを選択します。
- ③録音する時は「メニュー」→「設定」→録画」→「録画モード」→「スケジュール」を選択します。
音を再生するときは必ずフル画面にしてください。

8-1. 時間検索

マウスで「メニュー」をクリックして再生設定画面を表示します。

(本体の再生釦操作では直接、図83、図84は表示されません。)



- ①図85の**時間検索**を選択し、ENTER をクリックして 図86を表示します。
- ②マウスポインターを年月日時分秒の数字の上に移動(背景が黄色に変化)、スクロール操作で数字を変更します。
- ③「OK」をクリックすると再生が始まります。(◀と▶でも変更できます。)

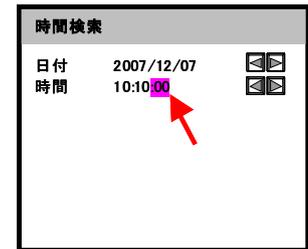


図 86

8-2. イベント検索

- ①図85の**イベント検索**を選択し、ENTER をクリックして 図87を表示します。
- ②マウスポインターを年月日時分秒の数字の上に移動(背景が黄色に変化)、スクロール操作で数字を変更します。
- ③「OK」をクリックすると再生が始まります。(◀と▶でも変更できます。)



図 87

8-3. 録画検索

- ①図85の**録画検索**を選択し、ENTER をクリックして 図88表示します。
- ②カーソルを任意の列に移動すると背景が黄色に変わります。
- ③OKをクリックすると再生が始まります。



図 88

8-4. 日付検索

- ①図85の**日付検索**を選択し、ENTER を選択して 図89を表示します。
- ②カーソルを「日付検索」に移動すると背景が黄色になります。
黄色にしたままカーソルを「年」に移動すると
 - ・「日付検索」の背景はピンク色に変わり「年」の背景が黄色に変わります。
 - ・「年」「月」のところでマウスのスクロール操作をすると数値が変更できます。



図 89

③最後にカーソルを日付に移動してダブルクリックすると再生が始まります。

【本体操作】

- ・上下釦で日付検索しENTER リターン、左右釦で項目選択移動します。
- ・年月日は上下釦で数値の変更をします。

9. ライブ映像監視の操作

9-1. 機器本体操作

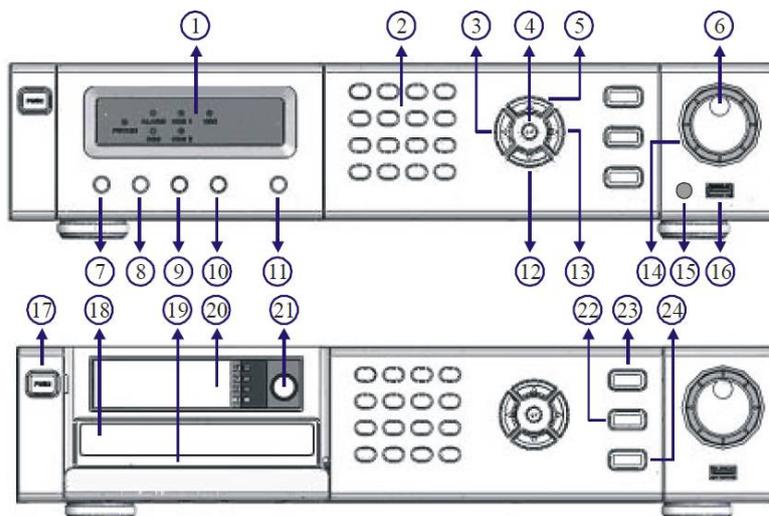


図90

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 液晶パネル | 9. 再生一時停止 | 17. HDDパネルオープン釦 |
| 2. カメラ選択、多画面切替 | 10. 再生停止 | 18. DVD+RW挿入部 |
| 3. 左釦(移動・選択) | 11. 多画面／フル画面 | 19. DVD取り出し |
| 4. 設定釦 | 12. 下釦(移動・選択) | 20. リムーバルHDDトレイ |
| 5. 上釦(移動・選択) | 13. 右釦(移動・選択) | 21. HDDロック |
| 6. ジョグダイヤル | 14. シャトルダイヤル | 22. メニュー釦 |
| 7. 録画／録画停止 | 15. 赤外線受光部 | 23. エスケープ |
| 8. 再生 | 16. USB 2.0コネクタ | 24. バックアップ |

①画面上のマークについて

数字(黄色)→現在操作ができるカメラを選択
PTZカメラならば付属のリモコンで操作ができます。

②画面分割表示釦により16、13、9、8、4の画面表示ができます。

(注意. MDR-6080は16分割、13分割、9分割はできません。)

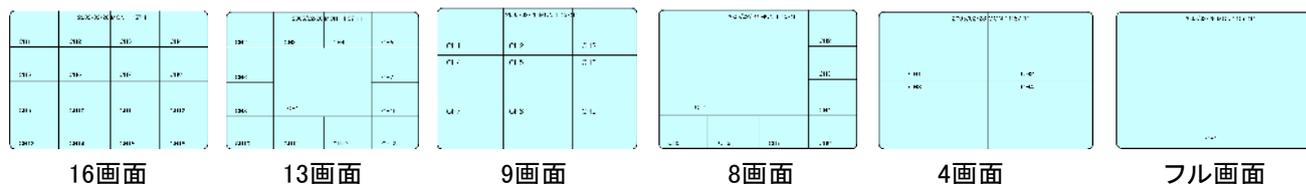


図91

- ③多画面からフル画面に変更したい時は「多画面／フル画面」釦  を押し、カメラ番号を押します。
多画面に戻す時は再度「多画面／フル画面」の釦を押します。

9-2. マウス操作 (P13、6-1「マウスによる設定」の項目を参考にしてください。)

①16画面の任意のカメラ映像をフル画面にすると

- ・任意の映像(ライブ映像)にカーソルを移動して左ダブルクリックするとフル画面にかわります。戻す時は再度ダブルクリックします。
- ・フル画面(ライブ映像)の時、別のチャンネルを選択したいときはスクロールで入れ替えます。

②画面の拡大

- ・フル画面上(ライブ映像)でマウスのドロー操作をすると選択した部分が拡大されます。戻す時は右クリックします。

9-3. リモート・コントロール・ユニットの操作

①本体正面パネルと同様の操作ができます。



図92

MDR-6160操作釘	
REC	録画／録画停止
ZOOM	2倍デジタルズーム(ライブ時)
ESC	エスケープ(前の画面に戻る)
MENU	セットアップ メニュー
↑	カメラ映像チャンネル送り
↓	カメラ映像チャンネル逆送り
⏸	停止(再生)
⏪	再生
⏩	一時停止(再生)
↺	巻き戻し
↻	早送り
PIP	ピクチャー・イン・ピクチャー
4画	4画面表示
8画	8画面表示(6080は未使用)
9画	9画面表示
13画	13画面表示(6080は未使用)
16画	16画面表示(6080は未使用)
BACKUP	映像バックアップ
MUTE	音声切
AUDIO	音声入
SEQ	自動画面送り
FREEZE	リアル映像の停止
DVR	DVR選択
NTSC/PAL	NTSC/PAL切替
LANGUAGE	使用言語選択

図93

PTZ 操作(黄)		PTZ 操作(青)		数字(水色)
AUTO PAN	オートパン	↑	上	0 ~9
ZOOM IN	ズーム イン	↓	下	
ZOOM OUT	ズーム アウト	←	左	
PRESET	プリセット	→	右	
		ENTER	エンター/セット	

図94

②DVRを複数同じ場所で使用するとき

- ・本体でDVR番号を変え、リモートコントロールユニットのDVR釘を押すと下記のように表示されます。
DVR 001:--- (左記DVR 001は本体側で設定した数値です。例:001の時)
- ・「---」に001と記入、本DVRのみ操作が可能となります。

③画面の拡大(ライブ映像)

- ・ ZOOM釦を押して「ZOOM IN」、「ZOOM OUT」釦で拡大操作ができます。

9-4. フル画面自動切換え

- ①6-2-8のシーケンスで待機時間を設定します。
- ②リモートコントロールユニットの「SEQ」を押すと自動的にフル画面となり、自動的に画面が切り替わっていきます。
- ③終了するときは再度「SEQ」を押すと終了します。

9-5. プリセット位置呼び出し

- ①リモートコントロールユニットの「PRESET」押すと画面左下に「PRESET」と表示されます。
- ②直接数字を打ち込みますと前もって設定されているポジションへ移動します。
 - ・ポジション設定は項目6-7。カメラコントロールで行います。
 - ・例:カメラ8の時は必ず「0」「8」と押してください。
 - ・画面上に「PRESET」が表示されている間は直接数字が打ち込め、設定されているポジションへ移動します。

10. 遠隔監視

■遠隔監視

インターネットを介して遠隔地にあるDVRをコントロールし、映像で確認することができます。

■インターネットを介してDVRを設定 (Configure the DVR via Web page)

ウェブページを通してDVRのサーバーの設定、一般的なネットワークの設定、PTZカメラの設定そしてビデオシステム設定ができます。

■DVRファイルプレーヤーをダウンロード (MPEG-4 DVR File Player)

MPEG-4 DVRファイルプレーヤーをインターネットによってダウンロードすることができます。

10-1. インターネットを使う前に

10-1-1. 使用条件

- インターネット、LANを介して遠隔操作を行うためには通常のブラウザを立ち上げます。

監視用PCの環境条件

OS	:Windows XPまたはWindows2000、またはそれ以上
CPU	:Pentium CPU
メモリー	:512MB以上
HDD容量	:20GB以上の空容量(録画保存用)

(注意:DVRのデフォルトIPアドレスは、192.168.1.171です。)

- インターネットでDVRにアクセスするときはルータのIPポートを下記のように設定してください。下記はデフォルトのIPポートです。

Port 80	: ウェブページ
Port 3100	: コマンドポート

10-1-2. IPスキャンソフト (IP Scan soft)

IPScanはすべてのIPデバイスをスキャンしてデバイスリストの中にDVRを表示します。

- ①付属のCDの中にあるIPScan.exeをインストールして実行します。
- ②すべてのDVRのIPデバイスをスキャン後、デバイスリストの中にすべてのDVRを表示します。

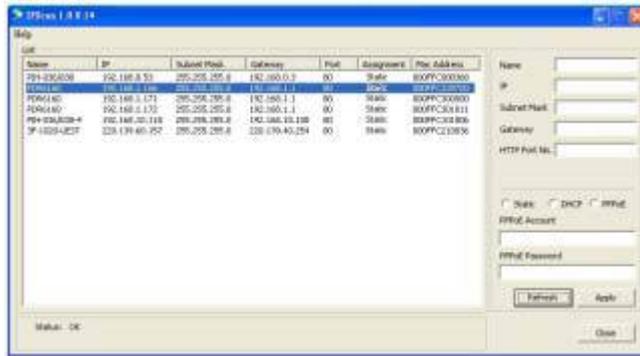


図95

③デバイスリストから見たいDVRを左クリックします。右側に選択したDVRの内容が表示されます。

デバイスリストの項目をダブルクリックするとインターネットブラウザが開きます。

そのとき、IPScan画面が表示されているときは右上の「×」を左クリックして閉じてください。

④この接続されているPCを介してDVRのネットワークの変更ができます。

・項目を変更したときは変更後、「Apply」鈕をかならずクリックしてください。

・「Refresh」⇒「255DVR」をクリックすると変更が確認できます。

(注意:間違ってネットワークのデータを消してしまった時はDVR側で再度ネットワーク設定をしてください。

HTTPは必ず80に設定してください。)

10-1-3. ActiveXプラグインの確認

ActiveXプラグインが使用するPCで動いていることを確認してください。

インターネットExplore ⇒ ツール ⇒ インターネットオプション ⇒ セキュリティ ⇒ レベルのカスタマイズ ⇒ 「ActiveXコントロールとプラグイン」を有効に設定します。



図96

10-2. 遠隔監視画面の立ち上げ

10-2-1. 接続方法

①本機とPCを接続するときはRJ-45ケーブルで接続します。

(注意:ハブ経由で接続する時はストレートケーブル、直接接続する時はクロスケーブルを使用してください。)

②通常ブラウザを立ち上げ、パスワードの設定をします。

アドレス欄に192. 168. 001. 171(工場出荷値)と記入し、LOG ON画面を立ち上ります。

パスワードにより操作の制限ができます。

■設定変更可能、すべての操作が可能

USERNAME admin(初期値)

PASSWORD 1111(初期値)

■設定変更不可、操作のみ可能

USERNAME OPERATOR(初期値)

PASSWORD 2222(初期値)

■映像確認のみ可能

USERNAME GUEST(初期値)

PASSWORD 3333(初期値)

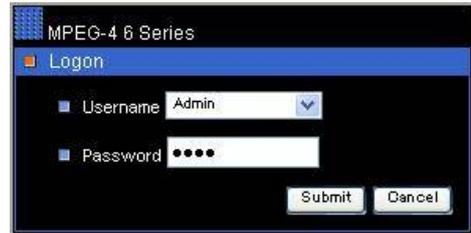


図 97

と記入し、「SUBMIT」を左クリックするとPC上に遠隔監視画面が表示されます。

(注意:最大接続数は7台です。)

10-2-2. PC上の遠隔監視画面

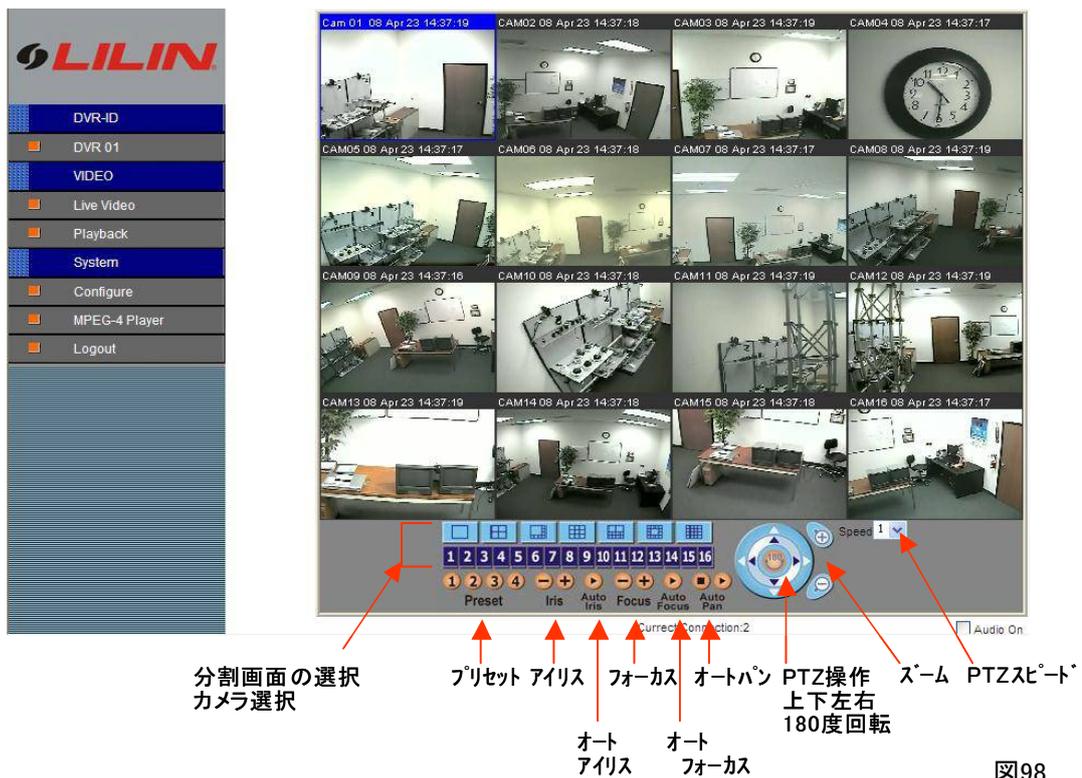


図 98

10-2-3. 画面分轄鈕

鈕	分割画面	鈕	分割画面
	フル		9分割
	4分割		10分割
	6分割		13分割
	8分割		16分割

図 99

10-2-4. ネットワーク上からの再生

遠隔監視画面(図96)から「PLAYBACK」をクリックして再生画面を表示します。



図 100



図101



図102



図103

① イベント検索 (Event Search)

- ・「Event Search」をクリックして図101を表示します。
- ・次のページを選択するときは「Next」、前のページに戻るときは「Prev」をクリックします。
- ・記録リストをクリックすると再生が始まります。

② 録画検索 (Record Search)

- ・「Record Search」をクリックして図102を表示します。
- ・次のページを選択するときは「Next」、前のページに戻るときは「Prev」をクリックします。
- ・記録リストをクリックすると再生が始まります。

③ 時間検索 (Time Search)

- ・「Time Search」をクリックして図103を表示します。
- ・年月日時分秒を指定し、最後に「Submit」をクリックすると再生が始まります。

10-2-5. JPEGファイルで保存と印刷

画面上で右クリックすると図104表示されます。

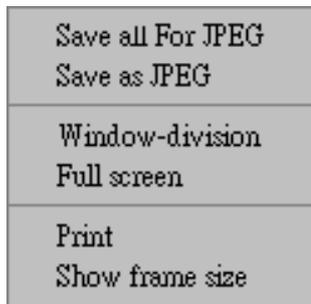


図104

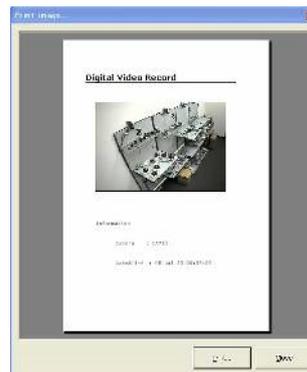


図105

- **Save all For JPEG** ← **すべてのカメラを静止画(JPEG)で保存します。**
 - ・PC遠隔監視画面上で右クリックします。
 - ・「Save all For JPEG」を左クリック、保存場所を選択または新規に作成して保存します。
- **Save as JPEG** ← **特定のカメラを静止画(JPEG)で保存します。**
 - ・PC遠隔監視画面上で右クリックします。
 - ・「Save as JPEG」を左クリック、保存場所を選択または新規に作成して保存します。
- **Window division** ← **ウインドウ分割**
 - ・フル画面のとき「window division」をクリックすると分割画面に変わります。
- **Full screen** ← **フル画面で表示します。**
 - ・元に戻す時は左クリックしてください。
- **Print** ← **選択した映像を印刷します。**
 - ・任意の映像を左クリックして選択し、右クリックして図106を表示します。
 - ・「Print」をクリックして印刷をします。
- **Show frame size**
 - ・画面上で「Show frame size」をクリックするとすべてのカメラのフレームの大きさが表示されます。
 - ・再度「Show frame size」をクリックすると消えます。

10-2-6. ネットワークからの音声モニタリング

ネットワーク上で音声を作動させるには「Video Display Control」⇒フルスクリーン⇒カメラのビデオを開きます。

DVRは、ネットワークから音声モニタリングをライブと再生ビデオに提供することができます。

10-3. インターネットからの各種設定

- 10-2-1. 接続方法から図98の遠隔監視画面を立ち上げます。

10-3-1. カメラの設定 (Camera Setting)

「Configure」⇒「General」⇒ 図108の設定画面を表示します。



図106



図107



図108

①ノイズフィルタ (Noise Filter)

・周辺が暗いときノイズの改善をするかしないかを選択します。
ON:有効 / OFF:無効 / NIGHT:夜間モード

②メインモニタ自動切替時間設定 (Main Monitor Sequence Time)

1～10秒

③カメラの選択 (Camera Disable)

モニタにライブ映像を表示するかしないかを設定します。

④ビデオロス表示 (VIDEO LOSS DETECTION)

モニター上に映像信号がないことを表示します。

10-3-2. 録画設定 (Recording Setting)

「Configure」⇒「General」で図109の設定画面を表示します。

①現在の録画モード (Current Rec Mode)

現在のDVRを録画しているモードを表示しています。
変更するにはチェックボックスをクリックすると変更できます。

Schedule: スケジュール録画 (1週間タイマー)

Manual: マニュアル録画

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

②HDDの上書き (HDD Overwritten)

HDDに上書きするかしないかを設定します。

ON : 上書き

OFF : 上書き無し

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

③録画画質 (Resolution)

録画方法を選択します。

Field 720×240 60(フィールド/秒)

CIF 320×240 120(CIF/秒)

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

④録画モード (Recording Mode)

スケジュール録画するかしないかを選択します。

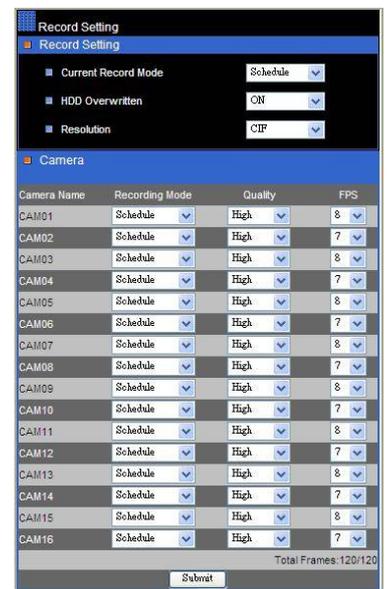


図 109

Schedule :スケジュール録画します。

No Recording :録画しません。

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

⑤録画画質の選択(Quality)

Highest 最高画質

High 高画質

Standard 標準画質

Low 長時間画質

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

⑥カメラのFPS(FPS)

録画フレームレートを設定します。(FPS:1秒間に画を取り込む枚数)

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

注意。項目6-4④フレームレートを参考にしてください。

10-3-3. 録画スケジュール表(Recording Schedule Table)

インターネット上で記録モード、日時を設定します。

図107から「Schedule Table」をクリックして図110を表示します。

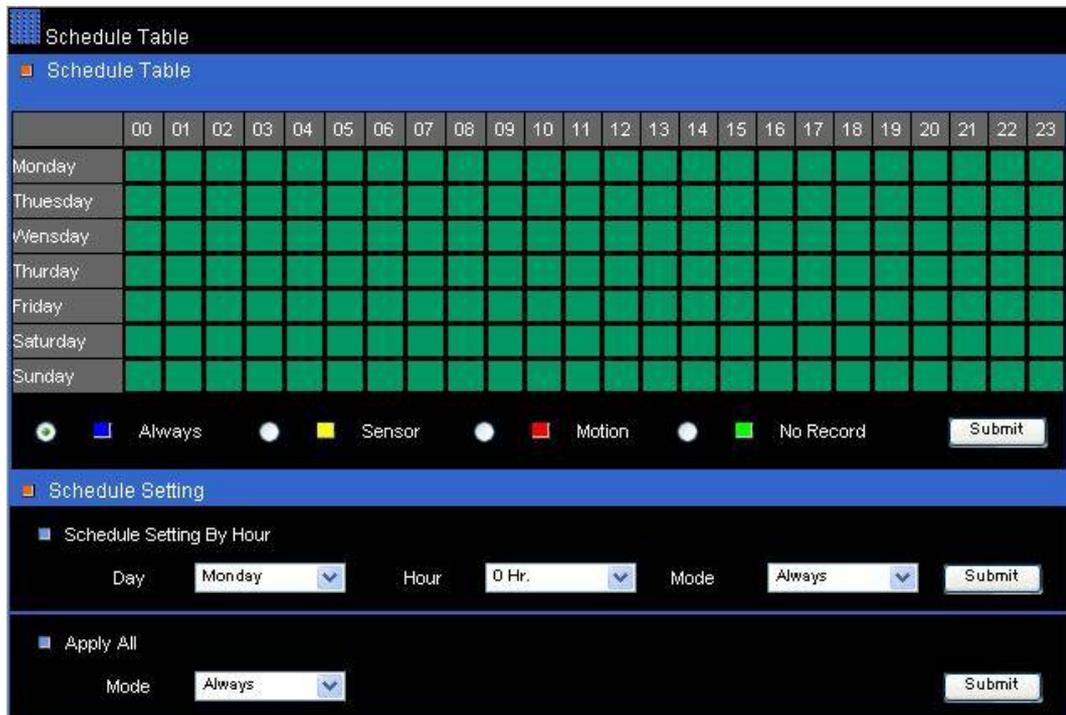


図110

①週間タイマー表(Schedule Table)

下記項目を選択して緑のマス目上でクリックすると同じ色に変わり「Submit」をクリックすると設定が完了します。

■ 常時録画(Always)

■ センサー録画(Sensor)

■ 動き検知録画(Motion)

■ 録画しません(No Record)

②スケジュール設定(Schedule Setting By Hour)

下記項目を選択して「Submit」をクリックすると設定が完了します。

曜日(Day) 月～日

時間(Hour) 1～23

録画モード(Mode) 常時／センサー／モード／無録画

③すべてに適用 (Apply All)

下記項目を選択して「Submit」をクリックするとすべての「週間タイマー表」が一度に設定できます。

- 常時録画 (Always)
- センサー録画 (Sensor)
- 動き検知録画 (Motion)
- 無録画 (No Record)

10-3-4. アラーム設定 (Alarm Setting)

「Configure」⇒「General」⇒ 図111の設定画面を表示します。

センサーの設定をします。

Camera Name	Motion Enable	Motion Area	Motion Tracer	Alarm Input Type	Alarm Output Time	Buzzer Output Time
CAM01	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM02	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM03	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM04	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM05	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM06	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM07	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM08	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM09	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM10	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM11	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM12	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM13	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM14	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM15	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM16	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec

図111

- DVRブザー設定 (Buzzer Enable)** ⇒ DVRのブザー音の有効/無効
 - 動き検知 (Motion Enable)** ⇒ 動き検知の有効/無効
 - 動き検の範囲 (Motion Area)** ⇒ 動き検知の範囲を設定の有効/無効
 - 運動痕跡 (Motion Tracer)** ⇒ 運動痕跡の有効/無効
 - アラーム入力 (Alarm Input Type)** ⇒ アラーム入力の有効/無効。(NO/NC選択)
 - アラーム出力 (Alarm Output Time)** ⇒ アラーム出力時間を設定
 - ブザー音 (Buzzer Output Time)** ⇒ アラーム発報時、ブザー音の時間を設定
- 設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

10-3-5. アラームEメール (Alarm E-mail)

「Configure」⇒「Alarm E-Mail」⇒ 図112の設定画面を表示します。

アラーム発報した時、前もって登録してあるアドレスに連絡します。



図112

アラーム発報連絡 (Enable Alarm E-Mail) ⇒アラーム発報を電子メールで連絡します。
(メールアドレスが必要です。)

DVR側のEメールアドレス (From) ⇒DVRのEメールアドレス設定

受信側のEメールアドレス (To) ⇒受信側のEMailアドレス設定

Host/IP Address ⇒本機に割り当てられたIP/DNSアドレス

認証 (Authentication) ⇒ユーザーとパスワード認証

E-Mail Account ⇒受信側のEMailアカウント

E-Mail Password ⇒受信側のEMailアカウントのパスワード

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

10-3-6. ネットワーク設定 (Network Setting)

「Configure」⇒「Network Setting」⇒ 図113の設定画面を表示します。ネットワークの各種設定をします。

IP Address	DVRのIPアドレス
Subnet Mask	サブネットマスク
Gateway IP Address	ゲートウェイIPアドレス(ルータ)
Video Port	映像ポート
HTTP Port	HTMLポート番号

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

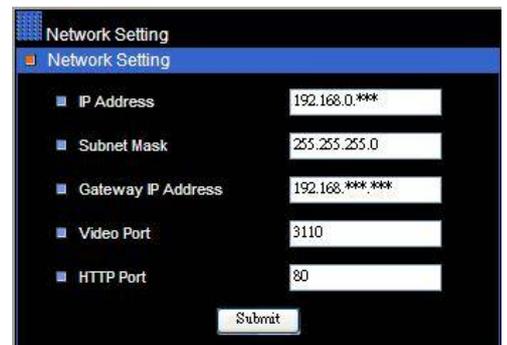


図 113

10-3-7. システム設定 (System Setting)

「Configure」⇒「System Setting」⇒ 図114の設定画面を表示します。

■サーバー設定



図 114

- MAC Address** : DVRのMACアドレス
Firmware : ファームウェアのバージョン
DVR/485 ID : リモコンとRS-485キーボードを使っている複数のDVR遠隔操作するためのアドレス指定可能なDVR ID。
Language : 言語選択
Max Connections: 最大のネットワーク接続数
Auto Logout : ログアウト
 設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。

■時間設定 (Timer)

「Configure」⇒「Time」⇒ 図115の設定画面を表示します。

- Date** : 日付
Time : 時間
DST : 夏時間設定

設定後、Submitをクリックすると設定は完了です。



図 115

■ユーザー設定 (User Setting)

「Configure」⇒「(User Setting)」⇒ 図116の設定画面を表示します。

DVRを操作するためのユーザー認証の変更ができます。

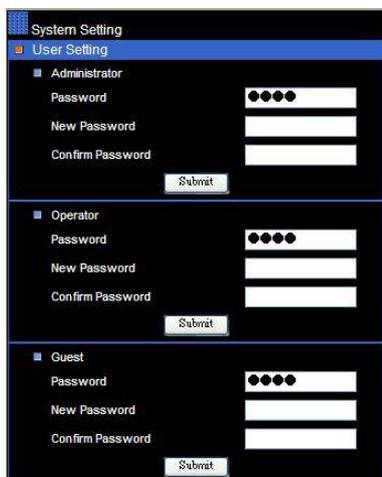


図 116

古いパスワードを入れます。次に新しいパスワードを入れます。確認のため新しいパスワードを再度入れます。パスワードにより操作の制限ができます。

- ①Admin : 管理者—DVRのすべての設定ができます

USERNAME admin(初期値)

PASSWORD 1111(初期値)

②Operator : 簡単操作のみできます。

USERNAME OPERATOR(初期値)

PASSWORD 2222(初期値)

③Guest : 見るだけで、操作はできません。

USERNAME GUEST(初期値)

PASSWORD 3333(初期値)

と記入し、「SUBMIT」を左クリックすると変更されます。

■システムステータス(System Status)

「Configure」⇒「System Status」⇒ 図117の設定画面を表示します。



図117

Primary Master HDD	DVRのために主要なマスターIDEチャンネルの状態を感知しているHDD
Primary Slave HDD	DVRのために主要な従属IDEチャンネルの状態を感知しているHDD
Secondary Master HDD	DVRのために第二のマスターIDEチャンネルの状態を感知しているHDD
Secondary Slave HDD	DVRのために第二の従属IDEチャンネルの状態を感知しているHDD
HDD Recording Start	DVRの時間を記録し始めてください
HDD Recording End	DVRの終わり記録時間
Approximate Rec Hours	HDDが利用できる全体のレコーディング時間(s)
Approximate Rec Days	HDDが利用できる全体のレコーディング日(s)
Current Written HDD	記録されたHDD部
Already Overwritten	HDDの上書き
DVR ID	DVRを操作する ID/RS-485 ID
Number of Connections	DVRにアクセスしているユーザー数
Last Reboot Time	最後の再起動時間
Kernel	DVRのOSバージョン

■ファームウェアの更新(Firmware update)

「Configure」⇒「Firmware Update」⇒ 図118の設定画面を表示します。

このDVRは、ネットワークを経由してファームウェアの更新ができます。

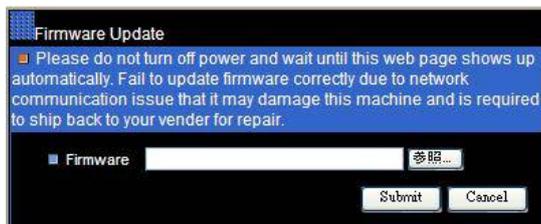


図118

参照をクリックしPC内部に保存されているファームウェアを選択し、「Submit」をクリックします。

自動的にファームウェアの更新を始め、更新後、HTMLページは、再立ち上げします。その後操作が可能です。

8-チャンネルと16-チャンネルのファームウェアファイルは、それぞれ「flash608.bin」と「flash616.bin」です。

10-3-8. バックアップ (Backup)

「Configure」⇒「Backup」⇒ 図119の設定画面を表示します。



図119

Start Time バックアップ開始時間を設定します。

End Time バックアップ終了時間を設定します。

Transform To AVI AVIファイルに変換します。

「Submit」鈕をクリックするとバックアップが始まります。

バックアップのプログレスバーは、ウェブページ上に表示されます。バックアップ終了後、LMPファイル拡張子でファイルハイパーリンクをクリックします。クリックするとDVRの内蔵FTPサーバからPCにダウンロードされます。



図120

再度バックアップファイルをダウンロードするにはダウンロードする「Backup File Download」ハイパーリンクをクリックしてください。



図121

10-4. 遠隔監視の操作

10-4-1.フル画面/16画面切り替え

画面上で左クリックをすると下記のように切り替えることができます。

16画面の任意の画面 → フル画面 → 16画面 → (以後くりかえし)



図122 16画面



図123 フル画面

10-4-2.PTZカメラの操作

- ・PC上の16分割画面から操作したい画面にカーソルを移動し、左クリックします。
- ・バーが灰色から青色に変わりカメラの選択が完了しました。
- ・PTZ操作部でカメラのコントロールができます。



図 124

11. データのバックアップと再生

11-1. データバックアップ (DVD+RW、USB: 本体操作の時)

11-1-1.BACKUP釦を押して図125を表示

- ・データを保存するデバイスを選択します。

バックアップ情報	バックアップ情報	バックアップ情報
デバイス DVD+RW	デバイス USB	デバイス HDDファイル
チャンネル すべてのCH	チャンネル すべてのCH	チャンネル ALL CHANNEL
開始 2007/11/21 14:55	開始 2007/11/21 14:55	開始 2007/11/21 14:55
終了 2007/12/21 14:55	終了 2007/12/21 14:55	終了 2007/12/21 14:55
取り出し/挿入	取り出し/挿入	取り出し/挿入
すべてのUSBファイルを削除	すべてのUSBをファイルを削除	すべてのUSBをファイルを削除
DVD初期化	DVD初期化	BLANK DVD
AVIファイルに交換 オフ	AVIファイルに交換 オフ	AVIファイルに交換 オフ
バックアップ装置の選択	バックアップ装置の選択	DETECT DEVOICE
DISK TYPE DVR+R(W)	USB空きスペース 0MB	USB空きスペース 128MB
およそのサイズ 3.8MB	およそのサイズ 128MB	およそのサイズ 128MB

DVD-RWの時

USBの時

HDDファイルの時

図125

11-1-2.DVD+RWへデータをバックアップ

- ①「HDDパネルオープン釦」を押して液晶パネル部の蓋を必ず開けておきます。
注意: 途中までしか開かないときは手でサポートしてください。
- ②図125 の「取り出し/挿入」にカーソル(黄色の背景)を上下釦で移動しENTER釦を押すとDVDのトレイがでてきます。
- ③DVD+RWをトレイにのせ、再度ENTER釦(カーソルが「取り出し/挿入」にあることを確認)を押すとトレイが収納されます。
- ④開始時間と終了時間を設定します。
上下釦で項目選択し、左右釦で数値の変更をします。
(ジョイスティック操作の時:ポインターを数値に移動、スクロール操作で数値が変えられます。)
- ⑤大体のデータサイズが表示されますのでメモリー容量が十分あるか確認してください。
- ⑥ENTER釦を押すとダビングを開始します。
- ⑦終了後、「取り出し/挿入」にカーソルを移動、ENTER釦を押してトレイを引き出しDVDを取り出します。
- ⑧最後にPCにDVDをいれ、映像がとれていることを確認してください。
注意: マウス操作の時はP26の6-9「バックアップ情報」を参考にしてください。

11-1-3.USBへデータをバックアップ

- ①正面パネルのUSB端子にUSBを差し込みます。
- ②11-1-2の④～⑥を実施します。
- ③最後にPCにUSBを装着し、映像がとれていることを確認してください。

11-1-4.HDDファイルへデータをバックアップ

詳細は6-9. バックアップ情報を参考にしてください。

11-2. バックアップデータの再生/印刷

- ①DVD+RWまたはUSBメモリーをPCに装着します。
- ②「スタート」 → 「マイコンピュータ」 → 「DVD+RW」または「リムーバブルディスク」を選択して開き、「MP4Player.EXE」を左ダブルクリックして図126の画面を立ち上げます。
- ③  釦をクリックするとファイルリストが表示されます。
- ④ファイルを選択するとしばらくして再生が始まります。
- ⑤また、画面上で右クリックすると下記のように表示されます。
Save “Cam No.01 Image”:カメラNo.1のみが静止画で保存されます。
(例:カメラNo.1の時)
Save Image ALL :すべての映像が静止画で保存されます。
保存する場所指定して保存します。
- ⑤Jpegで保存されましたので後はMicrosoft Photo Editor等で印刷ができます。



図126

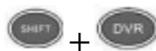
11-3. メディアの消去方法

- ①メディア (DVD+RW/ポータブルUSB) 内、データの一括消去はPC(標準消去)で行ってください。

12. キーボードとの操作

12-1. DVRとPTZカメラの操作（DVR:本機デジタルビデオレコーダ／PTZ:スピードドームカメラ）

①キーボードコントローラの「SHIFT」釦と「DVR」釦を押しDVR作動モードに設定します。



②DVRの操作

■例: DVR 12（12番目DVRを操作するとき）

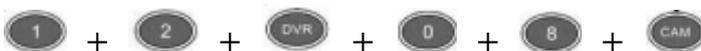
数字の1と2を入力して、「DVR」釦を押します。



③カメラの選択

■例: DVR12のカメラ8を選択

DVRの操作②を設定したあとに数字の08を入力して「CAM」釦を押します。



DVRの操作

カメラの選択

④直接、特定のDVRのカメラにアクセス

■例: カメラ17番目（DVR2の1番目のカメラです）

カメラのID(1~4080)を選択して、「CAM」釦を押します。カメラIDは、キーボードコントローラ経由で2番目のDVRを選択します。



■例: カメラ128番目(DVR#8の16番目のカメラです)



⑤分割モニタ（Window-division on Main Monitor）

DVRの画面分割を実行するために、下記の画面分割釦を押します。



⑥シーケンスモニタ（メインモニタ）

切り替え時間を設定後、リモコンの「SEQ」釦を押します。

12-2. セットアップメニュー

DVRを選択後、「SET」釦を押ししてセットアップメニューを起動させます。

12-2-1. ジョイスティックによるメニュー設定

	サブメニューへ		戻る／サブメニューへ
	カーソルを上移動		カーソルを下移動
	1桁削除します		1桁増やします
	サブメニューへ		戻る／サブメニューへ

図127

12-2-2. サブメニューの表示または非表示

- ①サブメニューシステムに「OK」または「キャンセル」釦があります。
- ②キーボード上に「SET」と「ESC」釦があります。

12-2-3. DVRの再生

- ①DVRを再生するには「再生」釦または「サーチ」釦を押します。
- ②再生釦を押すと再生メニューを呼び出すことができます。
 - ・3Dジョイスティックを操作してメニューカーソルを動かして再生します。
- ③「Search」釦はDVRの時間検索機能呼び出すことができます。
 - ・3Dジョイスティックを使用してメニューカーソルを操作します。

	1. サブメニューを表示 2. 早送り		1. 再生メニュー⇒サブメニュー 2. 早戻し
	カーソルを上移動		カーソルを下移動
	1桁削除します		1桁増やします

図128

再生釦の表示



12-2-4. PTZカメラの操作

- ①見たいカメラの画面を選択するかフルスクリーンモードにします。
- ②カメラを実行するために「エンター」釦を押します。
- ③一旦、DVRのカメラが制御されると以下のPTZ操作ができます。

	ズームイン		ズームアウト
	上方へ		下方へ
	水平方向左へ		水平方向右へ
	ズームイン		ズームアウト
	フォーカス遠		フォーカス近
	アイリス開放		アイリス縮小
	オートパン		

図129

12-2-5. プリセット位置の呼び出し

PTZカメラに前もってセットされた位置を呼び出すには下記のように行います。

例:カメラ21のプリセット位置16の呼び出し



12-2-6. スポットモニタの操作

キーボードPIH-931Dを使用してDVRのスポットモニタを操作できます。

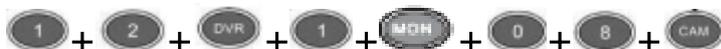
スポットモニタは4分割機能を装備しています。

スポットモニタはシーケンス操作できます。

12-2-7. スポットモニタにカメラを設定

「1」+「MON」を押して、選択するカメラカメラの数字を入力します。

例: 12台目のDVRのスポットモニタ1にカメラ8を呼び出します。



12-2-8. スポットモニタに4画面表示

「1」+「MON」を押して「4分割」鈕を押します。

例: 12台目のDVRのスポットモニタ「1」に4画面表示します。



12-2-9. スポットモニタにシーケンス表示をします。

「1」+「MON」と押して「SEQ」鈕押します。

例: 12台目のDVRのスポットモニタ「1」にシーケンス表示します。



13. 録画時間について

画質	録画フレームレート(コマ/秒) 250GB							
	120	60	30	15	10	5	3	1
最高画質	62	124	249	497	746	1,492	2,486	7,459
高画質	87	175	349	699	1,048	2,097	3,494	10,483
標準画質	176	353	706	1,411	2,117	4,234	7,056	21,168
低画質	319	638	1,277	2,554	3,830	7,661	12,768	38,304

画質	録画フレームレート(コマ/秒) 500GB							
	120	60	30	15	10	5	3	1
最高画質	124	249	497	995	1,492	2,984	4,973	14,918
高画質	176	353	706	1,411	2,117	4,234	7,056	21,168
標準画質	351	702	1,404	2,809	4,213	8,427	14,045	42,134
低画質	637	1,273	2,547	5,094	7,641	15,281	25,469	76,406

画質	録画フレームレート(コマ/秒) 1TB							
	120	60	30	15	10	5	3	1
最高画質	249	497	995	1,989	2,984	5,967	9,946	29,837
高画質	351	702	1,404	2,809	4,213	8,427	14,045	42,134
標準画質	702	1,404	2,809	5,618	8,427	16,854	28,090	84,269
低画質	1,275	2,550	5,100	10,201	15,301	30,603	51,005	153,014

図130

注意: ①上記時間は参考値です。実際の時間は撮影条件により変わります。
 ②カメラ毎にフレームレートの設定ができます。ただし最大録画フレームレートは120(CIF/秒)です。

14. 機器仕様

型名	MDR-6160A/S	MDR-6080A/S
録画	リムーバルHDD×1、内部HDD×1、DVD+RW	
記録メディア	SATA HDD×2	
録画モード	外部アラーム、動き検知、スケジュール、手動	
録画スピード	60フィールド/秒、120CIF/秒、1.2~8.2KB/CIF	
録画解像度	720×240(フィールド)/320×240(CIF)	
スケジュール	7日、24時間表示	
外付RAID	SATAインターフェース×2(最大4TB)	
録画フレームレート	各チャンネルごとに設定可能	
バックアップメディア	USB 2.0 フラッシュメモリー/DVD+RW(4GB)	
DVDフォーマット	DVD+RW,DVD+R、AVI/MPEG-4 VIDEO	
再生	通常録画検索、時間検索、イベント検索、日付検索	
再生スピード	早戻し:2×、4×、6×/早送り:2×、4×、6×	
圧縮方式	MPEG-4	
映像入力	BNC×16(1Vp-p、75Ω)	BNC×8(1Vp-p、75Ω)
スルー出力	BNC×16(1Vp-p、75Ω)	BNC×8(1Vp-p、75Ω)
カメラ名称	最大12文字	
ライヴ映像	NTSC:480FPS	NTSC:240FPS
チャンネル編集	マウスドラッグ	
映像出力	BNC×1(1Vp-p、75Ω)	
VGA出力	1280×1024/800×600	1280×1024/800×600
マルチプレクサ	自動切換え、デジタルズーム、静止	
モニタ画面表示	1,4,8,9,13,16,PIP	1,4,9,PIP
アラーム入力	16ch NO/NC	8ch NO/NC
アラーム出力	2ch NO/NC	2ch NO/NC
動き検知機能	感知枠:カメラ毎に30×24ユニット、感度:8段階	
イベント	外部アラーム、映像ロス、録画停止、電源、動き検知、スケジュール、HDDフォーマット	
録画	ブリアラーム(最大イメージ160)、ポストアラーム	
DVR設定	リモートコントローラ(DVRは1-255まで設定可能)	
PTZカメラ制御	弊社PTZカメラ、ペルコP/Dプロトコル	
RS-485/RS-232	RS-485キーボードコネクタ×2、12V出力RS-485 PTZ出力×1	
マウス	USB/PS-2	
音声	入力:RCA×4/出力:RCA×1	
ネットワーク	インターネットブラウザアクセス、複数アクセス可能	
ネットワークプロトコル	ARP / TCP/IP / HTTP / SMTP / FTP / DDNS	
ウェブ設定	アップデート可能	
API	HTTP API / ActiveX / SDK supported	
ウェブ	Live / event log & time search playback / AVI / snapshot	
IPスキャン	Supported, easy-to-setup for IP address	
ユーザー認証	3レベル:管理者、オペレーター、ゲスト	
WDT	ウォッチドッグ・タイマ(マイコンが正常に動作しているか否かをチェック)	
DST	夏時間	
LRA	限定録画	
言語	日本語	
CPU/OS	32-bit RISC Processor, 333 MHz / Linux 2.6 Kernel	
使用温度	0°C~+50°C	
使用湿度	0%~80%	
電源	AC100V	
消費電力	135W	
外形寸法	434×88×411.4mm	
質量	8.5kg	
付属品	リモコン×1	

15. Q&A

質問内容	原因	対応
DVD+RW へのダビング時間はどのくらいですか	-	開始ボタンを押してから約1時間強かかります。(約4GB 時)
HDDに上書きできない。または上書きしてしまう。	HDDの設定が異なっている。	MENU⇒録画⇒上書きで「ハイ」または「イエエ」を選択してください。
HDD エラー信号は外部にでますか	-	エラー発生後、約1分ぐらいでアラーム出力からワンショット出力します。(*1)
HDDを認識しない	HDDの接続部が正しく接続されていない。	トレイ部の接続端子部が正しく取付されていますか。
	HDDの不良	交換が必要です。購入したお店にお問い合わせ願います。
	HDDトレイがロックされていない。	付属のキーでロックします。
USB メモリーへのダビング時間はどのくらいですか	-	開始ボタンを押してから約1時間強かかります。(約4GB 時)
意味不明の文字や線がでる	ソフトまたはHDDの不良	交換が必要です。購入したお店にお問い合わせ願います。
音声が再生できない	-	フル画面にしてください。
画面上にビデオロスと表示される	映像入力が切断されています。	カメラ側(線、端末)などを不具合がないか確認してください。
画面全体にブロックノイズがでる	ソフトまたはHDDの不良	交換が必要です。購入したお店にお問い合わせ願います。
画面にHDDエラーと表示される	HDDの不良です	交換が必要です。購入したお店にお問い合わせ願います。
再生した音声が途切れる。	-	メニュー⇒録画⇒録画モードで「スケジュール」にします。
再生データがあるのに日時分秒検索ができない	HDDが2台の時、録画されているHDDを選択していない	取説の再生の項目を参考にしてください。
設定を工場出荷状態に戻したい	-	MENU⇒システム⇒デフォルトで工場出荷状態になります。
絶えずアラーム状態になる	動き検知の検知感度が高すぎます	動き検知設定のレベルを下げてください。
多画面からフル画面にならない	-	正面パネルの「多画面/フル画面」を押すとフル画面に変わります。
デフォルトを実行したら録画操作がすこしかわった	初期設定の変更が必要です。	*1を実行してください
日本語が操作中に他の言葉に代わってしまった	リモコンの右下にある「LANGUAGE」ボタンを押してしまった	MENU⇒システム⇒言語⇒JAPANESE を選択⇒OK
パスワードを忘れてしまった	-	工場出荷状態に戻します。MENU⇒システム⇒デフォルト (*2)
ビデオロスの信号は外部にでますか	-	エラー発生後、アラーム出力からワンショット出力します。
ファンの音が最初のころよりかなりうるさい	ファンモータの消耗	特に交換の必要ありません。
モニター映像下部に乱れが生じるようになった	リモコンの下部にある「NTSC/PAL」ボタンを押してしまった	再度、「NTSC/PAL」ボタンを押します。
モニター画面に特定のカメラ映像を表示させない	-	6-2-④でオンに設定する。
録画時間がカタログの数値と少し異なる	-	録画コマ数(フレームレート)が正しく設定されていますか。
		録画する映像により±20%変動します。
リモコン操作ができない	-	1m離れて操作してみる。
その他ソフト上のトラブル	-	電源をオフして壁から電源コンセントを抜きます。10秒ぐらいしてから再度、差し込みます。
質問内容(IP機能)	原因	対応
特定のカメラが見れない	-	アクセス設定が「オフ」になっている。:MENU⇒ネットワーク⇒アクセス設定で「オン」にする。
接続ができない	本体側のネットワーク設定が正しくない	ネットワーク設定を再度確認してください。
		IPアドレスは正しいですか
		サブネット、ゲートウェイがPCと同じグループになっていますか。
LANの中では見れるが外部から見れない	固定IPアドレスまたはルータの設定が間違っている。	ネットワーク責任者にご相談下さい。
PCとMDRを直接接続したら通信できない。	接続ケーブルにストレートタイプを使用している	クロスケーブルを使用してください。

*1. HDDエラーは約1分後にワンショット信号がアラーム出力端子からでます。
(復帰後は電源のON/OFFの操作が必要です。)

*2. デフォルト実行時には下記を実行してください。

「MENU」ボタン⇒「システム」を選択⇒「ENTER」ボタン⇒「デフォルト」選択⇒「ENTER」ボタン⇒「YES」を選択⇒「ENTER」ボタン⇒「OK」⇒「ENTER」ボタン⇒録画モードへ

録画モード: 「録画モード」を選択⇒「ENTER」ボタン⇒「カメラ選択」で全部を選択⇒「録画モード」⇒「ENTER」ボタン⇒「オフ」にする⇒「OK」⇒「ENTER」ボタン⇒「ESC」で完了です。

*3. PCのIPアドレス確認は次の手順で行ってください。(例: ウィンドウズXPの時)
すべてのプログラム ⇒ アクセサリー ⇒ コマンドプロンプト
ipconfig/allと記入してリターンキーを押します。

16. その他

16-1. 外部記録装置 PSH-100

- ・外部記録装置を使用したときは内部のHDDは使用できません。
- ・上ケースを空けて配線の変更が必要です。詳細はPSH-100の取扱説明書をお読み下さい。

16-2. 推奨USBフラッシュメモリー

ELECOM MF-AU204GSV / MYFLASH 1G / PRETEC 256MB / TRANSCEND ULTRA SPEED JETFLASH TM PORTABLE DATA STORAGE 1GB / RIDATA EZDRIVE TM USB 2.0 FLASH DRIVE 512 MB

注意: USB Portable Disk が USB 1.1 コンパチブルリナックスであることを確認してください。

USB フラッシュメモリーには本機で一部受け付けられないものがあります。

16-3. 推奨DVDディスク

「DVD+RW」または「DVD+R」をご使用ください。



有限会社 メリット

本 社 〒215-0018 神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5-6-17

電話 & ファックス : 044-986-9088

埼玉営業所 〒351-0115 埼玉県和光市新倉 1-28-12

電話 : 090-6527-6624

URL : <http://www.meritcctv.com>

E-mail : info@meritcctv.com

2012.4.1